

濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1152

「NEWSな濟生人」

外国人介護職員が
お互いをインタビュー

6

June 2025

社会福祉法人

恩賜
財団

濟生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani

201

患者の気持ち

6年前の夏、中学校時代の恩師の水上哲夫先生から職場に電話があった。以前から時々電話があったが、その時は要領が得ない。「どうしました?」「……」と声が聞き取れない。しばらく

沈黙が続く。「あ、あ」という声があり、「体に気をつけてくださいいね」と言うと、電話が切れた。

水上先生は理科教師で学級担任でもあった。教師時代から蜜

の再生など地域の自然保護に熱心に取り組んでいた。退職後も活動を精力的に続けられ、総理大臣賞や環境大臣賞を受賞された。私の母が長期入院していた時は、毎月花を持ってお見舞いをいただいた。母は病室の花瓶の花を指さしながら、「美しいね」とうれしそうに私に話してくれた。

環境事務次官の時に先生が主催された全国の蛍研究大会での記念講演を始め、長く交流が続いた。地元紙の北日本新聞で「子弟間の交流書簡」という形式で交互に執筆したエッセイが10回にわたって掲載された。

電話があったときは、肺がんの末期で入院中だったことを後日知った。それまで肺がん手術を2回受けて、健康を回復して元気に働いていた。しかし、3回目の再発の時は「今回は違う」と感じ、別れの言葉を私に伝えたかったのだろう。4カ月後、訃報を受け取ったときにそのことに気づいた。

5月5日付東京新聞に演歌歌手の山川豊さんのインタビューが掲載されていた。山川さんは昨年1月にがんであることを公

表し、活動を一時中止した。現在、ステージ4の肺の非小細胞がんと闘病中であると述べ、つらい副作用を語っている。インタビューでたくさんの人に支えられていると語る。「自分と同じようにがんと闘う『がん友』の存在が、落ち込んでいる場合じゃないと思わせてくれる」と。がんになったがんの専門医が書いた本で「病気になるのもならないとも、いずれ誰もが旅立つ」という文に心が軽くなったと述べる。患者でないといわれない気持ちである。

☆ ☆

患者の気持ちを推測することは難しい。特に重症の場合は、相手の言葉一つ一つに敏感に反応する。不用意な言葉をかけると、感情を害し、病状を悪化させる。フランスの哲学者アランは「顔色が優れない」と病人に言う、一層悪くさせると述べている。昔から私は、そのようによく言われたが、アランの言葉通りの反応を経験した。

まずは患者の言葉を全面的に受容し、気持ちを理解しようとするのが、最も優れた出発点であることは確かである。

昨日、 今日、 明日、三井住友銀行と。

昨日とは違う今日をはじめるために。

今日を未来へとつなげていくために。

私たちは、お一人おひとりの毎日を、
一つひとつの変化を、丁寧にみつめていきたい。

いつどんなときも、あなたにいちばん近い銀行でありたい。

これからもずっと、あなたの人生のパートナーであるために。



三井住友銀行

topics★コンシェル



「済生」のエンジン（原動力）は後半にあり!!
質・量ともに充実の、済生記者たちが投稿する
記事は宝の山、原石の煌めきを放っています。
済生コンシェルジュがおすすめする記事を
ご紹介します。

5月12日は近代看護を築いたフ
ローレンス・ナイチンゲールの誕生日。
旧厚生省は1990年、この日を「看
護の日」、5/12を含む週を「看護
週間」と決めました。各地の済生
会病院では看護体験などが開かれ
ました。6月号に間に合わなかつ
た施設は7月号に記事を掲載しま
すので投稿をお待ちしています。

The latter half of this magazine is
covered with a rich forest of
treasurable articles.
What will you discover there?



表紙のことば 慎み深いパイナップル

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

これから旬を迎える“海のパイナップル”ホヤ。三陸が
名産地です。イボイボの丸く膨らんだフォルム。貝の
仲間かと思いきや、別の種類の動物だそう。孵化後オ
タマジャクシのように泳ぎ、棲み家を探します。岩な

どに定着すると、尻尾や筋肉、考えるための脳など必
要ないので、自分で食べてしまうそうです。養殖では
隣と近いイボイボが少なくなります。脳はなくて
も遠慮はあるのでしょうか。何だか親近感がわきます。



済生

SAISEI

CONTENTS
JUNE, 2025

NEWSな済生人

外国人介護職員がお互いをインタビュー

介護職員 〈山形〉特養ながまち荘 06

アグス・トリヤントさん

介護職員 〈静岡〉特養小鹿なでしこ苑

エンジェリナ・バタウさん

フィトリアニさん

ヌル・アジザーさん

済生会交差点

《新人看護師夜勤研修》限られた人数で患者
さんを守るか。夜勤独り立ちを見据えた研
修プログラム／《チームでつなぐ骨折予防》
骨折リエゾンサービス始動！患者さんを転
倒・骨折から守る 10

海外での医療支援

〔南スーダン〕外科支援の現場から／〔ミャン
マー〕震災医療支援の現場から 15

巻頭コラム 済生会の不易流行論

患者の気持ち 理事長 炭谷 茂 03

topics★コンシェル

表紙のことば 久保田真由美 05

日本財団助成事業完了のお知らせ 18

ソーシャルインクルージョン 20

この人 小島慶子

口福にっぽん 吉井省一 24

だれでもかんたん てづくりおもちゃ
いまいみさ 26

TOPICS

大雑報

28

65

題字協力：石飛博光

アートディレクション：OVO INTERNATIONAL

外国人介護職員がお互いをインタビュー

「静岡の特養で働くインドネシア人介護職員を取材するのでアグスさん、一緒に行ってくださいませんか？」。済生会本部の広報課に呼ばれて特養小鹿なでしこ苑を訪れました。外国人介護職

員が外国人介護職員をインタビューする!? 機関誌「済生」初の取り組みだそうです。
(山形・特養ながまち荘 介護職員 アグス・トリヤント)

〈静岡〉特養小鹿なでしこ苑

介護職員

エンジェリナ・バタウさん

フィットリアニさん

ヌル・アジザーさん

あなたはなぜ日本へ？
介護の仕事、日本での暮らし……
皆さん、どうですか？

〈山形〉特養ながまち荘

介護職員

アグス・トリヤントさん



2018年ながまち荘が介護甲子園でグランプリ。右から2人目がアグスさん



ながまち荘の利用者さんと職員が花笠踊りの花笠を持って記念撮影。ながまち荘では2008年から外国人職員が活躍している

ヌル 私とエンジェリナは静岡の同じ専門学校出身です。学校の先生から小鹿なでしこ苑を紹介されて2年間アルバイトとして働き、卒業後そのまま入職しました。
アグス 2人とも留学生として来日し、日本語と介護の勉強をして介護福祉士の資格を取得後、小鹿なでしこ苑に入職したんですね。
フィットリアニ 私はインドネシアで看護師の資格を取得、現地の日本語センターに半年間通ってから来日しました。

た。看護師と同じ、人の役に立つ介護の仕事をやろうと決めていました。
アグス 仕事で大変だと思うことはありませんか？
ヌル 私のユニットでは介護度が高い入居者さんが多くいるので体力を使います。
エンジェリナ 入居者さんの希望に合わせて安心できるように話すことがまだ難しいと感じています。
フィットリアニ 大変だと感じるのは認知症の方への対応ですね。また、夜勤では働く人数が少ないのでとても緊張します。アグスさんはどうですか？



コンテスト当日は小鹿なでしこ苑の職員たちが応援に駆けつけた

昨年の静岡県介護技術コンテストの個別援助計画書作成部門で、ヌルさんが静岡県介護福祉士会会長賞を受賞

アグス Selamat siang (こんにちは) 私はアグス・トリヤントです。今日はよろしくお願いします。皆さんと同じインドネシア出身です。特養ながまち荘で働き始めて10年目。仕事は入居者さんの食事・排泄・入浴・移動の介助などさまざまです。
ヌル アグスさん、ようこそ小鹿なでしこ苑へ。私の名前はヌル・アジザーです。日本での生活は7年目です。
エンジェリナ 私はエンジェリナ・バタウです。私も日本に来て7年目。私とヌルさんは主に2階のユニットを担当しています。
フィットリアニ 私はフィットリアニです。前の2人と同じで日本に来て7年目です。時期は異なりますが、みんな入職3年目です。
アグス 皆さん、同期なのですね！ 日本で介護の仕事始めたきっかけは？
ヌル 私はインドネシアの大学で日本語を学びました。親戚が日本に留学していたので父から日本への留学を勧められました。日本では1年半ほど日本語専門学校に通い、その後は介護の仕事に就きたいと思い、介護専門学校に通いました。
エンジェリナ 私は高校卒業後に来日。日本語学校に通っているときに、専門学校のオープンキャンパスで介護の仕事を知り、興味を持ったことがきっかけです。

※写真撮影時のみマスクを外しています

済生会で働く もっともっと多くの外国人と 交流したいです！

日本の文化や食べ物 楽しいことがいっぱい

アグス 最初は利用者さんとのコミュニケーションに苦労しました。例えば「こわい」と言えば「恐ろしい」という意味だと思えますよ。山形弁では全然違って「疲れた」なんです。入居者さんに「こわい、こわい」と言われて、恐れられていると誤解してしまったことがあります（笑）。

アグス 皆さんは日本の生活で楽しかったこと、大変だったことはな

にがありますか？

エンジェリナ 日本語学校に通っていたときに、お祭りで浴衣を着て街を巡ったり、着物のファッションショー

に参加したことがいい思い出です。学校に通いながらアルバイトをしていた頃は、時間のやり繰りが大変でした。

アグス 2020年に介護福祉士に合格したその年の7月、日本の自動車運転免許を取得。インドネシアの若

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？

ヌル 出場者は13人。来場者・運営スタッフ合わせて230人が会場に集まったそうです。とても緊張しました。

アグス コンテストはどのような内容のですか？

ヌル 生活歴や趣味といった利用者さんの情報を把握した後、個別援助計画書を事前に提出しますが、実際はその通りには進んでいきません。同じテーマの他の出場者の実技を見ていても利用者役やお孫さん役の反応はさまざまです。

アグス 利用者さんやお孫さんの気持ちもその場で理解・判断して、制限時間内にケアする必要がありますね。

ヌル そうなんです。最初利用者さんの姿勢なども観察しておき、食事介助の際には誤嚥しないようにどう姿勢を直すかを考えます。会場に持ち込んでいいものは三つに限られ、私はクッション、俳句の季語集、スプーンを選びました。

フィトリ 日本の文化や食べ物など楽しいことはいっぱいあります。特に子どもの頃から憧れていた桜の風景を実際に見たときは「本当にキレイ！」と感動しました。

アグス 静岡だと桜と富士山の組み合わせが見ることが出来るからうらやましい……。日本の好きな食べ物は？

フィトリ たこ焼きが好きです。以前、友だちと集まって5人でタコバ（たこ焼きパーティー）をしました。

ヌル 私はお餅が大好きです！ 小鹿なでしこ苑では毎年餅つきをしているので、つきたてのお餅をあんこと一緒に食べるのがおいしいです。でも、イスラム教の私とフィトリさんは、食べられないものが多いのがちょっと大変なんです。

フィトリ 外食するときは苦労します。日本の料理は豚肉やお酒が入っているものが多い、調味料にも豚肉の成分が入っていることがあるんです。

ヌル 日常生活では大体インターネットの通販で材料を買って自炊しています。アグスさんは？

アグス 日本で楽しかったことはありますか？

アグス 2020年に介護福祉士に合格したその年の7月、日本の自動車運転免許を取得。インドネシアの若

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？

ヌル 出場者は13人。来場者・運営スタッフ合わせて230人が会場に集まったそうです。とても緊張しました。

アグス コンテストはどのような内容のですか？

ヌル 生活歴や趣味といった利用者さんの情報を把握した後、個別援助計画書を事前に提出しますが、実際はその通りには進んでいきません。同じテーマの他の出場者の実技を見ていても利用者役やお孫さん役の反応はさまざまです。

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？

ヌル 出場者は13人。来場者・運営スタッフ合わせて230人が会場に集まったそうです。とても緊張しました。

アグス コンテストはどのような内容のですか？

ヌル 生活歴や趣味といった利用者さんの情報を把握した後、個別援助計画書を事前に提出しますが、実際はその通りには進んでいきません。同じテーマの他の出場者の実技を見ていても利用者役やお孫さん役の反応はさまざまです。

アグス 利用者さんやお孫さんの気持ちもその場で理解・判断して、制限時間内にケアする必要がありますね。

ヌル そうなんです。最初利用者さんの姿勢なども観察しておき、食事介助の際には誤嚥しないようにどう姿勢を直すかを考えます。会場に持ち込んでいいものは三つに限られ、私はクッション、俳句の季語集、スプーンを選びました。

アグス 2020年に介護福祉士に合格したその年の7月、日本の自動車運転免許を取得。インドネシアの若

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？



小鹿なでしこ苑にて、利用者さんとともに



笑顔で利用者さんを介助するアグスさん



5年前、日本の自動車運転免許を取得したアグスさん。念願のマイカーを購入した際は、施設の仲間と一緒に記念撮影



情報を把握した後、個別援助計画書を事前に提出しますが、実際はその通りには進んでいきません。同じテーマの他の出場者の実技を見ていても利用者役やお孫さん役の反応はさまざまです。

アグス 利用者さんやお孫さんの気持ちもその場で理解・判断して、制限時間内にケアする必要がありますね。

ヌル そうなんです。最初利用者さんの姿勢なども観察しておき、食事介助の際には誤嚥しないようにどう姿勢を直すかを考えます。会場に持ち込んでいいものは三つに限られ、私はクッション、俳句の季語集、スプーンを選びました。

アグス 2020年に介護福祉士に合格したその年の7月、日本の自動車運転免許を取得。インドネシアの若

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。



エンジェリナさん



フィトリさん



ヌルさん



アグスさん

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？

ヌル 出場者は13人。来場者・運営スタッフ合わせて230人が会場に集まったそうです。とても緊張しました。

アグス コンテストはどのような内容のですか？

ヌル 生活歴や趣味といった利用者さんの情報を把握した後、個別援助計画書を事前に提出しますが、実際はその通りには進んでいきません。同じテーマの他の出場者の実技を見ていても利用者役やお孫さん役の反応はさまざまです。

アグス 利用者さんやお孫さんの気持ちもその場で理解・判断して、制限時間内にケアする必要がありますね。

ヌル そうなんです。最初利用者さんの姿勢なども観察しておき、食事介助の際には誤嚥しないようにどう姿勢を直すかを考えます。会場に持ち込んでいいものは三つに限られ、私はクッション、俳句の季語集、スプーンを選びました。

アグス 2020年に介護福祉士に合格したその年の7月、日本の自動車運転免許を取得。インドネシアの若

者の憧れの車「レクサス」を購入するとい

う夢を果たしたことです。

アグス 実際は、全国から6400以上の福祉施設が参加する「介護甲子園2018年」に出場してグランプリを取った特養ながま荘メンバーの一人なんです。それもあって本部広報課の人から今呼ばれたのですが……。ヌルさんも介

護技術コンテストで受賞したと聞きました。おめでとうございます！

ヌル ありがとうございます。昨年、静岡県介護技術コンテスト（ケアコン）に出場し、介護福祉士会会長賞を受賞しました！指定されたテーマは「看取り期の食事支援」で、会場で利用者役とお孫さん役2人にケアの実技を行いました。

アグス 当日は何人くらい集まったのですか？

ヌル 出場者は13人。来場者・運営スタッフ合わせて230人が会場に集まったそうです。とても緊張しました。

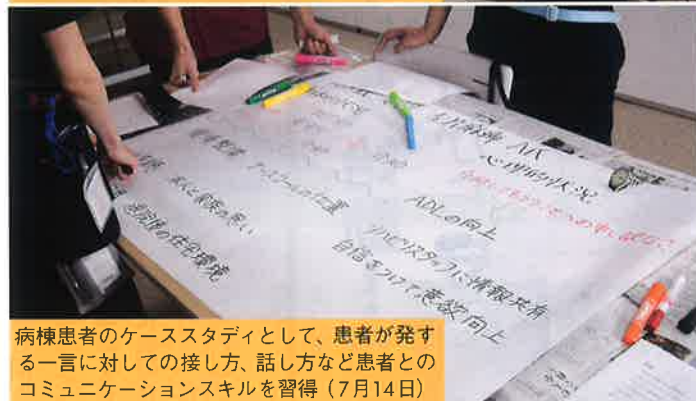
【令和6年度の新人看護師研修】



リハビリ研修では理学療法士から患者の介助方法を学ぶ（5月1日）



先輩看護師から吸痰方法の指導を受ける新人看護師4人（6月6日）



病棟患者のケーススタディとして、患者が発する一言に対しての接し方、話し方など患者とのコミュニケーションスキルを習得（7月14日）



12誘導心電図研修は臨床検査技師が指導（9月19日）

昨年度の実施で3年目。夜勤の独り立ちについては所属長が3カ月評価をする中で見定めま
す。個人差はありますが、研修からおおむね3〜6カ月で新人看護師は独り立ちをしていきま
す。
指導を受けた新人看護師は「夜勤をしていく上で不安を取り除くことがで

S研修、モニター・輸液ポンプなど医療機器の保管場所や、A

EDの設置場所と使用方法を学びます。また、当直医への報告や指示受け、転院搬送の手順も確認します。
夜勤中における地震や火事等の災害対策マニュアルが行動レ

ベルで理解できるようにシミュレーションも重要です。
急変時に使用する医療機器の中から、12誘導心電図計について研修します。検査課係長による疾患別の心電図の特徴の講義後に、モデル人形を使用して12誘導心電図の電極を装着する演習を行います。患者への声掛けの配慮とともに、緊急時に迅速かつ正確な対応力の習得を目指します。
「医療安全の危機予測トレーニング」では、医療安全室看護部長による危険予知訓練の講義とグループワークを行います。昨年度は認知症患者がおむつ交換を拒否する場面のイラストから、どのような危険が考えられるかを話し合いました。新人看護師からは「認知症患者には患者のペースに合わせて対応することが安全につながる」といった意見が出ていました。

適切なサポートで 新人の不安を軽減

「緊急時の対応と医療機器」のプログラムでは、夜間の急変や緊急時に対応できるようにB



【令和6年度の新人看護師研修】

【右】夜勤研修内で行なわれた患者さんの急変に備えた12誘導心電図の研修（9月19日）
【左】採血研修では先輩看護師に教えてもらいながら緊張した様子の新人看護師（5月30日）

限られた人数で 患者さんを守れるか 夜勤独り立ち を見据えた 研修プログラム

最近では、急性期病院の在院日数の短縮化に伴い紹介患者は重症

入れて地域完結型の医療を提供していきま
す。
当院では回復期リハビリテーション（回復期）を主体とし、介護老人福祉施設、重症心身障害児（者）施設等を併設しています。看護体制は13〜15対1で病床稼働率は98%を維持。急性期病院からの紹介患者を多く受け
入れて地域完結型の医療を提供していきま
す。
当院では回復期リハビリテーション（回復期）を主体とし、介護老人福祉施設、重症心身障害児（者）施設等を併設しています。看護体制は13〜15対1で病床稼働率は98%を維持。急性期病院からの紹介患者を多く受け
入れて地域完結型の医療を提供していきま
す。



筆者の齋藤さん

筆者の齋藤さん
看護教育委員会が新人看護師の夜勤研修プロ

化し、状態が急変する傾向が高いといえます。そのため看護師には患者の変化に気付くフィジカルアセスメント力や、急変時の対応力が求められます。また、救急体制のない当院では、重症化する前に適切な医療機関へ搬送する必要があります。
特に夜勤では限られた人員で急変に対応すべく新人看護師の育成が重要といえます。当院は2交代制勤務で、16時30分〜翌朝9時の夜勤帯には看護師2人と介護士1人で45床の患者のケアを行います。夜勤の独り立ちまでは、先輩看護師と共に4人体制です。
夜勤は食事介助をはじめ排泄や更衣、認知症患者やナースコールの対応など業務は煩雑です。夜勤者は、この状況の中で患者の安全を守るために緊張した一夜を過ごします。
そこで看護教育委員会が新人看護師の夜勤研修プロ

新人看護師を鍛える 三つのプログラム

まず、自身が万全の体調で初めての夜勤に臨めるように、スマートフォンブルーライトによる自律神経機能への影響やリラクゼーションの必要性について指導します。
また、身近な先輩に夜勤前の過ごし方を聞き、自分に合った過ごし方を見つけられるように具体的なアドバイスを行ないます。夜勤前の体調不良時は、早めに所属長に報告し、交代勤務である医療職特有の配慮についても伝えます。夜勤明けは体を休め、生活リズムを整えるために過ごしてもらうようにしています。

「緊急時の対応と医療機器」のプログラムでは、夜間の急変や緊急時に対応できるようにB

チームでつなぐ 骨折予防

長崎病院
健診センター主任
平川幸子

骨折リエゾンサービス始動！ 患者さんを転倒・骨折から守る

骨粗鬆症は骨量が減り、骨が弱くなって骨折しやすくなる病気です。日本では1000万人以上の患者さんがいるといわれ、高齢化に伴いその数は増加しています。特に65歳以上の3人に1人が1年間に一度以上転倒を経験。その結果、大腿骨の骨折を経験する人が年間約25万人いると推計されています。



筆者の平川さん

大腿骨近位部の骨折後1年で死亡する人は約20%、元の生活に戻れる人は37〜47%程度であることが明らかにされています。骨折を機に寝たきりやひきこもりが進むことは高齢社会の重要課題であり、医療機関は予防と治療の両面での役割が求められています。

多職種で連携し患者さんの暮らしに安心を

当院では、2023年度に200例の大腿骨近位部骨折の手術を実施。うち92%を病院到着から48時間以内に行なっています。その患者さんに対する二次性骨折予防に「骨折リエゾンサービス（FLS: Fracture Liaison Service）」チームが取り組んでいます。

きた」「夜勤のライフサイクルのイメージがついた」「夜勤後のコンディションを整えることの重要性が分かった」など、夜勤の心構えが備わったようです。一方、指導にあたった先輩看護師も「新人が不安を感じ

る点が明確になった。長い目で支援していきたい」とコメントしています。看護部では、新人の不安を軽減するため、夜勤前後に打ち合

わせと振り返りを重視。課題を明確にして、次回の夜勤に生かす体制を整えています。現在では夜勤研修を受けた4人は独り立ちし、各部署で元気に勤務しています。

今年度の当院の新人看護師は12人。看護部教育委員会は、新人看護師が自信を持って夜勤の独り立ちができるよう、指導者と協力して研修を継続していく予定です。



FLSチーム立ち上げ時の院内カンファレンス



長崎病院は大腿骨近位部骨折の手術の92%を、来院から48時間以内に実施

「FLSとは、多職種連携により、脆弱性骨折患者に対する骨粗鬆症治療の開始率と治療継続

率を上げ、転倒予防を行なうことで二次性骨折を防ぐ取り組みです。メデイカル・フイー戦略室（MFT）の森下亜紀室長から、当院で手術を行なった患者



多職種で構成されるFLSチーム



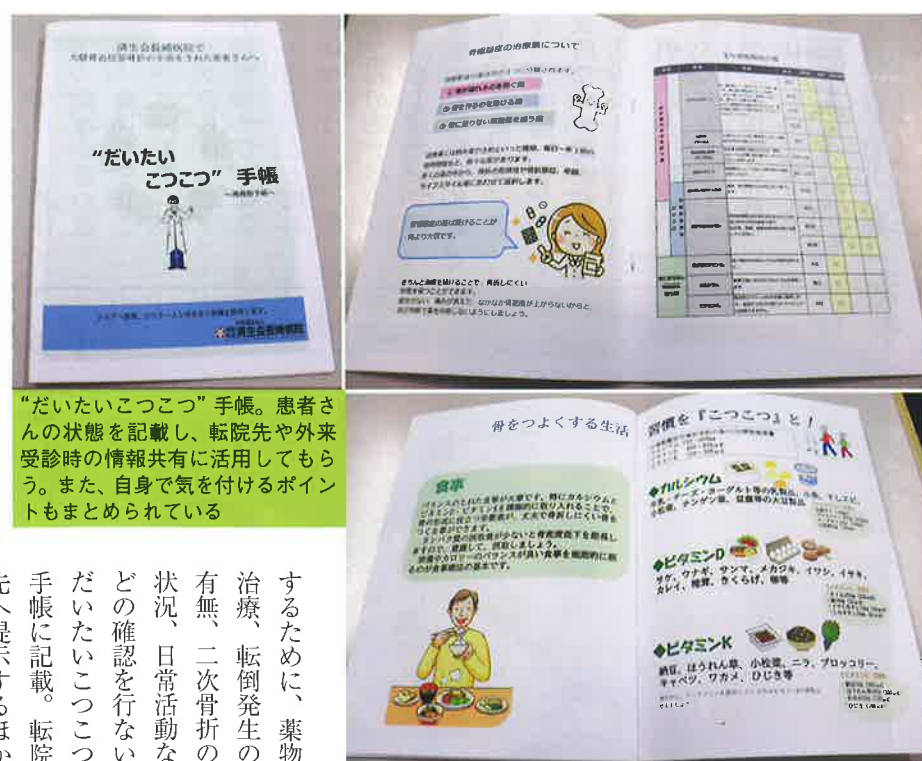
大腿骨頸部骨折手術後、ガーゼの付け替えを行なう

さんをフォローアップした方がよいのではとの提案があり、昨年10月にFLSチームが発足しました。

チームには、整形外科医師、内科医師、薬剤師、看護師（病棟、外来、手術室）、リハビリスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、管理栄養士、診療放射線技師、社会福祉士、事務員などが参加。各職種の強みを生かし、連携しながら活動しています。

始。そして、骨粗鬆症治療とともに継続的なフォローアップを行なっています。

「だいたいこつこつ」手帳。患者さんの状態を記載し、転院先や外来受診時には患者さんに必ず持たせてもらっています。



“だいたいこつこつ”手帳。患者さんの状態を記載し、転院先や外来受診時の情報共有に活用してもらう。また、自身で気をつけるポイントもまとめられている

するために、薬物治療、転倒発生の有無、二次骨折の状況、日常活動などの確認を行ない、だいたいこつこつ手帳に記載。転院先へ提示するほか、



稲葉医師



久留宮医師

海外での医療支援 南スーダン/ミャンマー

内戦の続く南スーダン、地震により甚大な被害を受けたミャンマー。過酷な現場で命を支える医療者たちの活動がありました。国境を越えて人道支援に取り組んだ2人の医師が見た現実と、そこで出会った人々の姿。命と向き合い続けた日々の記録から、支援の本質とその意義を伝えます。



この地域には隣国スーダンの内戦によって傷ついた人々が数多くいます。しかし、医療施設が少なく、インフラ面でも人員面でも限りがありました。その中で私は2カ月間滞在、400件以上の手術を行いました。

仲間と共に戦地での医療 現地の実情を世界に伝える

手術の多くは銃創や刺創など、戦闘に起因する外傷でしたが、産婦人科系や急性腹症などの手術も多くありました。日本ではほとんど見ることのないような過酷な怪我も珍しくなく、毎日、次から次へと運び込まれる患者さんの外科手術に明け暮れていました。現場では



筆者

〈三重〉松阪総合病院 診療部救急科長 久留宮隆

国境のはざまで命を支える 南スーダン・アビエイ 外科支援の現場から

2024年12月から2025年2月にかけて、私は国境なき医師団(MSF)の外科医として、南スーダンとスーダンの国境地帯にあるアビエイ地域に派遣されました。南スーダンは2011年に独立を果たした世界で最も新しい国です。しかし、独立後も内戦が続いています。私が派遣されたアビエイもスーダンと南スーダンの境界にあり、その帰属がはっきりと決まっていなかった地域でした。



骨粗鬆症とFLSの意義に関する院内研修会

り栄養バランスよく食べることや、適度な運動を行ない、骨を作る細胞を活性化させることが大切です。そこで、この手帳を使用して患者さんへ説明したり、食事や運動など退院後の日常生活の中で気を付けることを指導したりしています。



院内研修会では「治療としての急性期栄養療法」と題して整形外科の中川皓一朗医師が講演

このように、薬物治療管理、栄養管理、リハビリテーションなどさまざまな視点から転倒予防を実践し、二次性骨折予防につなげています。また、当院には3人のFLSコーディネーター(看護師)がいて、対象患者ピックアップ、手帳の発行や転院先等の調整など、患者さんへの対応全般を行なっています。昨年12月12日には骨粗鬆症に対する知識の共有と、FLSの意義に関する院内研修会を開催し、多職種49人が参加。スタッフ間でも骨折後の再骨折予防や患者さんへの支援の重要性を共有しました。

FLSチームを立ち上げて半年余りが経ちましたが、今後の展望としては、来院から48時間以内の手術の実施率を92%から95%に、骨粗鬆症治療介入率を25%から80%に、外来フォローアップ率を33%から80%に、と具体的な改善の数値目標を立てています。スタッフからは「フォローアップで外来受診の患者さんとの関わる時間をつくり、患者さんのモチベーションを上げたい」(看護師)、「継続できる治療を提案していきたい」(医師)など意欲的な声が聞かれます。

引き続き、地域の皆さんが安心して生活できる医療の提供を目指して、スタッフ一丸となって取り組んでいきます。

清生会のトップページからアクセス!! <https://www.saiseikai.or.jp>

熊本清生会ほほえみ「パン工房ふわり」 TEL:096-223-3428
松山ワークステーション「なでしこ」 TEL:089-916-6959

なでしこファーム



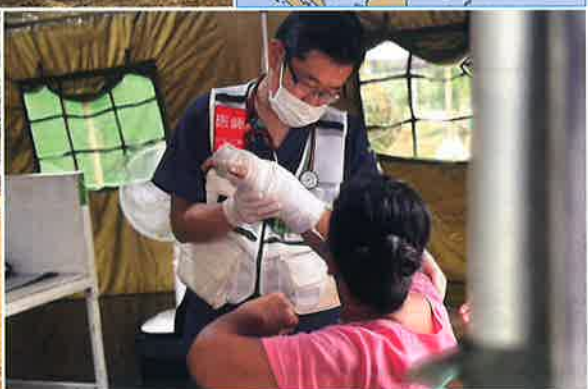
稲葉医師の活動写真は全て
ピースウィンズ・ジャパン提供

人々の笑顔と感謝 心に寄り添う支援を

ザガイン地域は震源に最も近く、家屋が倒壊し、インフラも寸断され、人々は寺院や野外へ避難していました。私たちが診療所を設けたのは避難してきた人々が集まる寺院の一角。そこ

には、骨折などの外傷、感染した傷に加え精神的ショックを合併している方がひっきりなしに訪れました。中には数日どころか1週間以上、適切な治療を受けられずにいた方もいました。

1日あたりの診察数は20〜30人。地震の被害に加えて、地面に寝る生活の中で疲弊する高齢者や、紛争から逃れてきたという事情を抱えた家族も少なくありませんでした。誰もが苦難を抱えながらも私たちの前では「ありがとう」と笑顔を見せて



くれました。ミャンマーの政情は非常に不安定な状況にあり、支援のあり方にも慎重な配慮が求められます。

多くの方々の表情が教えてくれました。これからもミャンマーの人々に心を寄せていきたいと思っています。

す。だからこそ私たちは確実に医療を届けること、そして心を込めて寄り添う姿勢を大切にしました。支援活動を終えて帰国した今も、現地では後続の医療チームが診療を継続しています。PWJとしても、今後は医療にとどまらず、食糧や生活用品の提供など、中長期的な支援を続けていく予定です。私たちが行なった支援は全体から見れば小さなものでした。しかし「支援とは相手の痛みに気づき、静かに手を差し伸べる」ということ。そのことを現地で出会った多くの方々の表情が教えてくれました。これからもミャンマーの人々に心を寄せていきたいと思っています。



ピースウィンズ・
ジャパン
ウェブサイト

支援とは静かに手を差し伸べること ミャンマー震災医療支援の現場から

岡山済生会総合病院 救急科非常勤医師 稲葉基高

2025年3月28日、ミャンマー中部でマグニチュード7・

7、死者が1600人を超える大きな地震が発生しました。国

内情勢が不安定なこの国にとって、大きな打撃となる災害です。私は日本のNGO「ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)」の災害医療チーム「ARROWS」の医師として、ザガイン地域に入り、10日間にわたって医療支援を行ないました。



筆者



医療チームだけでなく、物資の調達や安全管理、通訳などを担う非医療者の支えが不可欠です。彼らの存在があってこそ、私たち医療者は目の前の命に集中することができました。

アビエイでの活動は3月14日に松阪総合病院で職員に報告。現地での外科医療の実情に加え、治療の合間に見えた人々の暮らしや、支援の難しさや意義を話しました。報告後は多くの質問がありました。

私は「現地で出会う患者を少しでも助けたい。そしてこの思いに共鳴してくれる人を増やしたい」という思いからこの活動が続いています。飢餓と虐殺が続いたナイジェリア・ビアフラ



戦争に憤った医師やジャーナリストたちが始めたMSFは、「独立・中立・公平」の立場で医療・人道援助を行ない、現地の実情を世界に訴える「証言活動」をしています。今後も南スーダンをはじめ、人々に現地での活動経験・事実、目の前の命を救いたいという強い気持ちを伝え、理解と共感を得ながら支援の輪を広げていきます。



帰国後、松阪総合病院内で活動内容を報告した

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を実施しています。
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。
だれも排除されないまちづくりを目指し、
全支部・施設が1800の事業を展開します。

ソーシャルインクルージョン

病院と就労継続支援事業所が連携 新たな就労支援モデルを形成

北海道済生会

〈北海道〉小樽病院に併設する就労継続支援B型事業所「ユニホーム」は、病院職員ユニホームのクリーニング業務を可能な限り内製化して受注することで、安定した業務を行なうことができています。

しかし、乾燥室が狭い、アイロンプレッサーが整備されていないなど、洗濯業務の作業環境が脆弱なため一度にたくさんさんの洗濯物を処理することができず、大半の職員ユニ



外国人向けの無料健診・健康相談

岡山済生会予防医学健診センター

ホームのクリーニングを外注しているという課題がありました。そこで日本財団からの助成により作業環境を改善することで、洗濯業務の内製化をさらに拡大。洗濯能力を月8000枚に増やすことが可能になり、より多くの利用者が働くことができる環境を構築できました。

これにより、計画当初から現在までの期間で利用者が3人増加。工賃は北海道平均の283・7円（全国平均233円）の倍額以上の580円への引き上げを計画しています。

（済生記者 清水雅成）



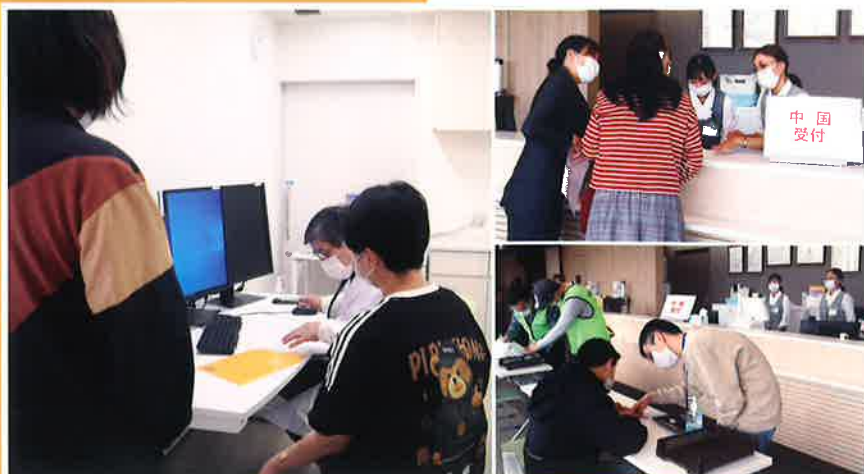
5月11日、岡山旭川ロータリークラブとの共催により、外国人向けの無料健診・健康相談を実施しました。当日は岡山に住む中国やベトナム出身の方など23人が来院。ロータリークラブの皆さんが慣れた手つきで案内してくださいました。

通訳ボランティアにはベトナム語が堪能な方が多く、たいへん心強く感じました。岡山済生会看護専門学校（看護）の学生たちも身振り手振りを交えて懸命に対応し、会場は和やかな雰

囲気に包まれました。

岡山済生会総合病院や当センターから21人、ロータリークラブから16人、通訳ボランティア9人、看護教諭・学生14人など多くの人の協力により、今年も無事に無料健診・健康相談を終えることができました。

（臨床検査技師 神志那仁美）



“誰もが活躍できる場”を目指して 地域共生型コミュニティの形成



当会は、連携する大型商業施設「ウイングベイ小樽」内に活動拠点として「済生会ビレッジ」を開設し、これまでさまざまな活動を行なってきました。

昨年9月には、日本財団からの助成を受け、ユニバーサルスポーツエリア「スポーツスクエア」を開業しました。

ア、就労支援エリア「ワークスクエア」、重度心身障害者も利用可能な交流スペース「コミュニティスクエア」をオープン。誰もが活躍できる場の提供を目指して活動を開始しました。

スポーツスクエアには市民向けのモルック・ボッチャ会場を

開設。昨年度は2300人以上が利用し、22回のイベントが行なわれました。

ワークスクエアではワークステーションを開発し、子育て世代、高齢者など多世代の市民の利用を促しています。

子ども向けの就労体験会なども行ない、昨年度は136人が利用しました。

コミュニティスクエアにはAEDや救急カーを設置。地域ボランティアが毎月、介護予防体操などのイベントを開催しています。昨年度は7回の介護予防イベント活動が行なわれ、合計204人が参加しました。また、

医療的ケア児・重症心身障害児17人による利用がありました。今後も活動を推進することで、障害者をはじめとした社会的マインリテイの人々に対する認識が深まるとともに、多様な交流を創出し、社会的孤立の防止につなげます。

（済生記者 清水雅成）





Text：新亜希子
Photos：吉川信之

Hair & Make-up：中台朱美

父の転勤先のオーストラリアで3歳までを過ごし、7歳でシンガポール、8歳で香港へ。当時は、帰国子女が珍しかった時代。周囲と馴染めないこともあった小島さんにとつての楽しみが、テレビとラジオだった。「我が家は、夜10時以降はテレビ禁止。それ以降は部屋でラジオを聞いていました。ラジオの向

親とも先生とも、友達ともうまくいかず、世の中全部消えてくたないと思っていたけど、ラジオを聞いているときだけは、世の中を信じていることができた。それで生きつないだところがありました」。

高校時代、ドキュメンタリー制作に興味を持ち、テレビの世界へ。「どういふ情報を流すか

万人に好かれなくてもいい たった一人の希望になれたら

こうにだけは、私をくだらないことで笑わせてくれる大人がいっぱいいつぱい大人がいます。

こじま・けいこ 1972年、オーストラリア生まれ。父の転勤により、幼少期はシンガポールや香港でも生活。95年、TBSに入社。アナウンサーとしてテレビ、ラジオに出演。99年に『第36回ギャラクシーDJパーソナリティ賞』を受賞。2010年に独立。メディア出演のほか、『VOGUE JAPAN』『講談社mi-mollet』『日経ARIA』など連載多数。自身の経験をもとにした執筆や講演活動について「人生の戦場レポート」と位置づけ、多くの人の共感を呼んでいる。

によって、世の中は良くも悪くもなる。世の中を少しでも明るくできたら」。そんな思いとは裏腹に、求められたのは若くて華やかな女のこらしさ。違和感を覚えた小島さんは、求められる。若手女性アナウンサー像に馴染めず、仕事は減少したが、信頼する上司がラジオの仕事を探してくれた。リアルタイムで届く反響に、「放送というものは、本当に人に届いているんだ」と感じたという。「リスナーがいろいろな思いを打ち明けてくれるんです。大切にしなければと思います」。

「万人に好かれなくてもいい。今日は小島さんの番組が面白かったから、ひとまず生きてよかった」と、たった一人が思ってくれたら十分」と小島さん。現在はメディア出演のほかにも、執筆や講演を通して、自身の経験を伝えていく。必要としている誰かに届くと信じて。それを続けることが、「世の中を少しでもマシにする



大倉集古館の入口に立つ金剛力士像の前で

2024年12月、大倉集古館の

「特別展 志村ふくみ100歳記念」にて

2024年12月、大倉集古館の「特別展 志村ふくみ100歳記念」にて。展示されていた志村ふくみ氏と石牟礼道子氏の交流から生まれた新作品「沖宮」の装束の美しさに感銘を受けた。続いたのは能楽師・金剛龍謹氏。偶然にも今年2月から小島さんは金剛龍謹氏のもとで、仕舞と謡を習うことに。他にも「子育ての手が離れ、最近、香道のお稽古を始めた。30年ぶりに再開した茶道の勉強も楽しい」と話す。

小島慶子

この人
Vol. 181



幼少期をシンガポールや香港で過ごした小島慶子さん。ドキュメンタリー制作に興味を持ったことからテレビ業界を志し、1995年にTBSに入社。

“若手女性アナウンサー像”に疑問を抱いたことで葛藤もあったが、ラジオの仕事を通し、放送が持つ力を実感したという。

小島さんの仕事観に一貫する軸、その思いに迫る。

Keiko Kojima

役に立ちたい」という願いに通ずると希望を持つて。今日も、言葉を伝え続ける。

口福につぼん

吉井省一

パティスリー&カフェ「ミティーク」そのモチーフになったのが、仙台藩伊達家に代々受け継がれてきた色鮮やかな水玉模様の陣羽織と、初代藩主である伊達政宗公の兜の前面に据えられた三日月型の前立て。

気になるフレイバーは、抹茶・フランボワーズ・ブルーベ

リー・ゆ

ず・ずん

だの5種

類。それ

ぞれ色に

応じて、「エメラルド」「ルビー」

「サファイア」「イエローダイヤ

モンド」「パール」とジュエリ

93 水玉の陣レアチーズ

パティスリー&カフェ
「ミティーク」

宮城県
仙台市



済生会の「病院・施設」がある
県内の市町村

よしい・せいいち 一般社団法人日本作詩家協会理事。コピーライター時代に老舗百貨店の食の通販誌で約30年執筆に携わり、試食した食品の数は1万点を超える。

皆さんご存じの名曲「青葉城恋唄」の舞台である仙台は、美しい歌詞に描かれている通りの風情ある「杜の都」です。

少年時代をお隣の山形で過ごした私にとっても思い出深い土地で、特に印象に残っているのは、仙台に程近い松島。「松島やあか松島や 松島や」という有名な句が詠まれるほど見事な日本三景の一つです。

城下町ならではの落ち着いた街並みも印象に残っています。今回紹介するのは、青葉城の名で親しまれている仙台城を築城した伊達政宗公をイメージしたレアチーズケーキ。それでは、華やかかつ美味なるスイーツの陣へ、いざ出陣でござる。



パティシエの兄・土田俊也さん（左上）とスイーツの企画・製造・販売を行なう「コルマル堂」代表でパリスの弟・土田誠也さん（右上）。フランス・パリで提供された「ブルー・ジュエル」（下）も好評を博した



この「水玉の陣」はJR東日本お土産グランプリでエリア賞新東北みやげコンテストで優秀賞を受賞している逸品スイーツ。中でもフランボワーズ味の「ルビー」は、JALの国内線ファーストクラスの機内食にも採用されているほどです。

メインとなる食材は、蔵王山麓産の新鮮な生乳をたっぷり使ったクリームチーズ。他にもブルーベリーやゆずなど、地元である宮城県産の食材を使っているのもこだわりのひとつ。濃厚でコクがあるのに、なめらかで



【左】紫羅板地五色 水玉模様陣羽織※ 【右】黒漆五枚銅具足 伊達政宗所用……いずれも仙台市博物館所蔵（※近年研究が進み、政宗公の時代より後の江戸時代中期の製作とされている。斬新なデザインと配色の美しさが際立つ）

まろやかな舌触りが特長のレアチーズケーキです。

鮮やかな彩りの中に
繊細で上品な甘さ

まずは抹茶味の「エメラルド」から。ココア味のスポンジ生地の上に、抹茶風味のレアチーズケーキ。その中にほっくりした食感の小豆が入っています。抹茶のほろ苦さと小豆の甘さがまさに



「パティスリー & カフェ ミティーク」のショーウィンドーは、見る者を魅了するスイーツたちのランウェイ。店内のインテリアの一つひとつにもこだわりがあふれている

絶妙なバランス。
真っ赤なラズベリー味の「ルビー」は、ラズベリージャムの

甘酸っぱさと蔵王産クリームチーズ特有の奥深いコクがベストマッチ。舌の上で淡雪のごとく



解凍の仕方でも3通りの食べ方がある。「冷凍」ならアイスケーキ感覚、「全解凍」ならムースの口溶けが魅力。パティシエのおすすめは、冷凍の食感も滑らかさも楽しめる「半解凍」とのこと

とろけていくのがたまりません。

濃紺の色合いが目を引きブルーベリー味の「サファイア」は、ジュエリーなブルーベリージャムが程よいアクセント。甘いけれども甘すぎないのが魅力。

鮮やかな黄色が目飛び込んでくるのは、ゆず味の「イエローダイヤモンド」。果実感たっぷりのゆずのコンフィが爽やかな後味へと誘います。

最後に、仙台と言えば、やはりこれ。ずんだ味の「パール」。チーズの豊かなコクとずんだの素朴な風味が、和洋折衷のハーモニーを奏でてくれます。

ほのかに酸味があるレアチーズケーキには、フルーティーなエチオピアコーヒーが合うとはベテランパティスリーからのアドバイス。ついもう1個と手が伸びて、5個ぺろりと食べ終える頃には、えも言われぬ満足感に包まれます。そう、仙台のけやき並木の木陰で初夏のそよ風に吹かれて

いるよう。ああ、口福。
まもなく、「青葉城恋唄」にも出てくる『七夕まつり（8月上旬開催）』でにぎわう城下町仙台。観光途中にカフェでひと息、また手土産を選ぶのにもぴったりのお店を見つけました。

水玉の陣 レアチーズケーキ 5個セット
[25g×5個（抹茶、フランボワーズ、ブルーベリー、ゆず、ずんだ）入り]
2,970円（税込・送料別） 賞味期限……製造日より冷凍45日

お取り寄せ・お問い合わせは
ミティーク（コルマル堂）

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-7-10
TEL: 022-725-5644

ホームページ: <https://www.mythique-sendai.com/>
オンラインショップ: <https://www.mythique.shop/>





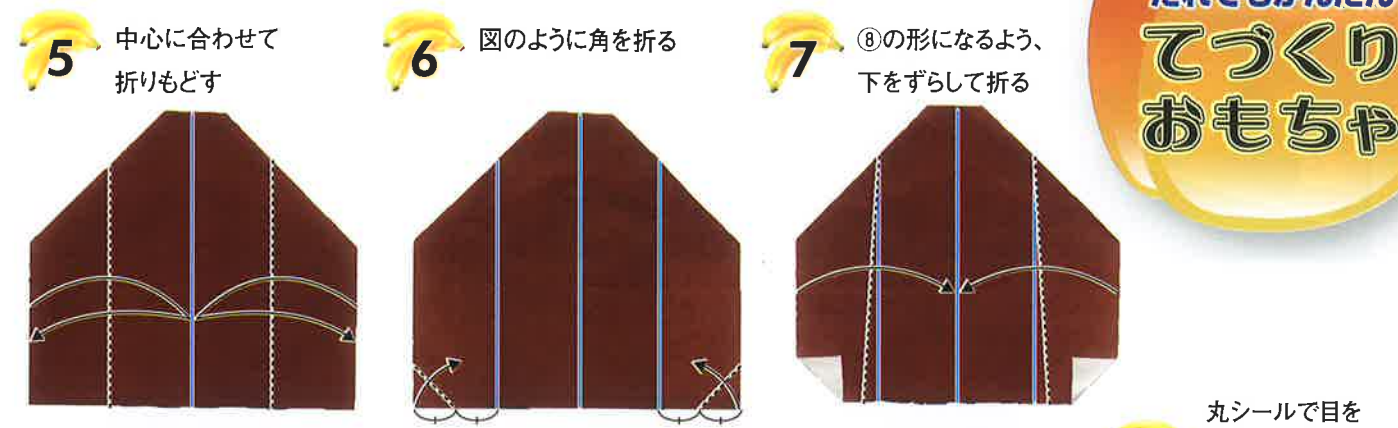
Happy summer!

元気いっぱい！ 笑顔のせみたち

作品 いまいみさ



せみ



木の葉



木の幹



【いまみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に「365日たのしい折り紙」(日東書院)、「12か月のおりがみ壁飾り」(講談社)など39冊。最新刊は「1年中使える! 決定版おりがみ図鑑」(講談社)。

動画もcheck!

作品・折り図：いまみさ おりがみ協力：株式会社トーヨー



新潟県央基幹病院で
ICリンク認定証授与式が行なわれました

topics

院内感染を防ぐ！ ICリンクナース13人誕生

新潟県央基幹病院

当院の看護
師13人が院内
感染を防ぐた
めの重要な役
割を担う「I
Cリンク」に
認定され、3
月28日に授与
式が行なわれ
ました。
ICリンク
は、感染管理
室（ICT）
から感染管理
に関する知識
を学び、実践モデルとして、感
染対策が実行できることを目指
しています。また、現場で起こ
る問題点について、ICTと連
携して改善に取り組み、部署で
の感染対策を強化しています。
感染管理認定看護師の小柳浩
子さんと朝妻聡美さんは「今後
は看護師だけでなく、他の職種
にも感染管理の知識を持ったス
タッフを増やすことで、より安
全な医療環境を目指していき
たい」と語っています。

今年度は、看護師・ナース
シスタント・歯科衛生士・作業
療法士・理学療法士・臨床検査
技師など多職種17人が受講予定

（済生記者 渡邊真衣）
★ICリンクの役割は非常に
重要！多職種連携で院内感染
管理の強化に期待ですね……。
（本部広報課 大嶋 薫）

「患者さんに安心を」
森技師が技術新人賞受賞

放射線技術科の森一也技師が、
4月10～13日に開催された第81
回日本放射線技術学会総会学術
大会で技術新人賞撮影分野（一
般撮影）を受賞しました。この
賞は今後の研究奨励が期待され
る人を表彰するもので、森技師
は継続的な研究発表の実績が高
く評価され、今回の受賞に至り
ました。

入職当初から、一般撮影や血
管撮影における画質評価や撮影
線量の適正化に関する研究に携
わるなど、放射線被ばくの低減
に関する取り組みを続けてきた
森技師。「被ばく線量の最適化
だけでなく、患者さんの安心に
つながる医療環境の構築に貢献
したいという思いで進めてきた
研究が評価され、大変光栄です。
今後さらなる研究に取り組ん

でいきたい」と受賞の喜びを語
りました。

（済生記者 原 衣里奈）



（大阪）吹田病院
創立80周年を記念して
特別講演会に62人

4月26日、千里阪急ホテルで
創立80周年記念の特別講演会を
開催し、登録医の先生方、関連
医療関係者、職員ら計62人が参
加しました。

島俊英院長の挨拶の後、座
長に甲北病院の寒原芳浩副院
長（当院元副院長）を迎え、岡
上武名督院長が「吹田から世界
へ」肝臓の臨床・研究と病院経
営」と題して特別講演を実施。

続いて、高元信二「事務局長が「吹
田病院80年の歩み」、新任の消
化器外科・田中基文科長が「肝
癌に対する外科治療」現状と展
望」をテーマにそれぞれ講演
しました。

（済生記者 橋本 茜）

三重県済生会

松阪市民病院の指定管理へ
基本協定を締結

三重県済生会と松阪
市は「松阪市民病院の
指定管理に係る基本協
定」を締結し、5月7
日に締結式を松阪市役
所で行ないました。

令和8年4月1日か
ら開始する指定管理に
向けて、この基本協定
では指定管理者として
の責務や業務内容など、
施設の管理運営に関す
る基本的な事項につい
て定めています。

〈三重〉松阪総合病院
は建て替えを計画して
おり、完成した病院に
松阪市民病院の急性
期医療の機能を集約し、

松阪市民病院は回復期を中心と
した病院に機能転換していきま
す。
締結式では諸岡芳人支部長と
竹上真人松阪市長が協定書に署
名。諸岡支部長は「市民病院が
地域医療を支えてきたことに敬
意を表し、さらに安心して過ご
すことができる地域になるよう
力を尽くしたい」と今後の抱負
を語りました。

（支部事務局 山本秀典）



〈北海道〉小樽病院

札幌大の記念動画に協力 地域医療貢献PRに一役

札幌医科大学の創設80周年記念動画制作に当院整形外科が協力することになり、5月14日に院内で撮影が行なわれました。動画は同大の歩みや地域医療への貢献をPRするために制作され、出身医師たちの代表として、山下敏彦学長が当院を推薦しました。

当院からの出演は和田卓郎院



長、織田崇診療部長、大山智充院長、竹中理紗副院長、清水俊希研修医の5人の同大出身者。また、当院を訪れていた小樽市医師会の鈴木敏夫会長も、同大出身で山下学長とは同期ということもあり、患者役として特別出演しました。

動画は6月の記念式典のオープニングに会場で上映され、当院も完成版をいただけるとのこと。出演した医師たちの姿を含め、出来上がりがとても楽しみです。

（済生記者 定 淳志）

大分県地域生活定着 支援センター

日頃の運転を見直して

当センターの業務である刑務所出所者等に対する福祉的支援は、自動車を運転することが多くあります。また、県の委託事業であるため、支援対象地域は県下全域に。職員は公用車3台を使用し、ほぼ毎日事務所を飛び出して移動しています。高速道路を利用する長距離移動も頻繁で、令和6年度の年間走行距離は3万キロに達しました。



「あいさつロード」で コミュニケーション活性化

岡山済生会総合病院

このため、改めて安全運転を学ぼうと、県の交通安全教育派遣事業を利用し、3月4日、職員7人で改めて交通法規等を学びました。

講師は元警察官。事故事例を交えての講習を受け、とても有意義な学びを得ることができました。その甲斐あってか、講習翌日から職員の運転がとても慎重なものに。今後も定期的に受講し、一層の安全運転に努めていきます。

（相談員 圓道太二）

当院ES委員会（従業員満足度向上委員会）では、職員同士の声掛けを促進し、職場の雰囲気より明るくしようと「あいさつロード」を企画。4月1日に開始し、職員専用廊下に飾り付けを行いました。岡山済生会公式イメージキャラクターのSAIKAちゃんや、岡山済



生会総合病院・外来センター病院それぞれの院長のイラストがさまざまなあいさつを交わしています。

あいさつは相手の存在を認め、信頼関係を築く大切な一歩です。廊下の装飾をきっかけに自然な声掛けが増え、「岡山県済生会で働いてよかった」と思える職場づくりにつながればと思います。職員同士の結びつきを感じながら、患者さんに向き合える職場風土をこれからも育んでいきたいと考えています。

（済生記者 高畑貴子）

〈三重〉介護老人福祉施設 明和苑

すてきな三味線の音色で 特別なランチタイムを

当苑では、毎年5月と10月に行楽食事を開催しています。5月は新緑に囲まれた玄関前広場で、入居者さんに昼食を楽しんでもらっています。

5月9日はあいにくの雨天のため、苑内での開催となりました。普段は各ユニットのホールで食事をしていますが、入居者さん約20人は地域交流室でいつもと違った環境で昼食を楽しみ



ました。また、職員による三味線の生演奏で、「茶摘み」「炭坑節」「故郷」「ぼけない小唄」など季節やなじみのある歌を歌いました。

入居者の皆さんは「すてきな三味線の演奏が聞けてよかったわ」「いつもよりもっとおいしくいただきました」と笑顔で話していました。

（生活相談員 深田藍子）

〈三重〉松阪総合病院

障害者施設が製造販売する 災害備蓄食料700缶購入

4月16日、職員を対象にした災害備蓄食料品を斡旋販売しました。販売する災害備蓄食料品



は、松阪市にある障害者支援施設ベテスタが製造販売している「ばんカンぱん」。1缶に2個の柔らかいマフィンが入っており、4種類の味が販売されています。5年間の長期保存が可能という特長に加え、何よりもおいしいと評判で、今回は700缶もの購入希望がありました。

新年度を迎え、当院にも多くの新人職員が入職しました。今回の取り組みは、職員に改めて済生会のソーシャルインクルージョン活動を理解してもらうとともに、大規模災害時に備えた食料の確保にも役立ちました。

（健診センター 引地 学）

〈茨城〉水戸済生会総合病院 新認定看護師3人誕生

当院では、不妊症看護、緩和ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、認知症看護、慢性心不全看護、がん薬物療法看護



護、感染管理の9人の認定看護師が活動していましたが、令和6年度に新たに緩和ケア、皮膚・排泄ケア、感染管理の分野で3人の新しい認定看護師が誕生しました。同一年度に3人認定を受けたのは当院では初めてで、質の高い医療提供体制がさらに強化されました。

新認定看護師の3人は「先輩方にご指導いただきながら、認定看護師として患者さんのケアや不安の軽減に努めていきたいです」と意気込みを語りました。今後は12人の認定看護師皆で協働して活躍できるように精進していきます。

（ICU副看護課長
菊池舞子）

熊本福祉センター 福利厚生充実

4月から熊本福祉センターの八つの事業所（かがやき・ほほえみ・ウイズ・グループホーム事業所・など）こ園・しらふじ子ども園・熊本福祉相談支援センター・熊本県地域生活定着支援センター）全職員202人を対象に、福利厚生の充実を目的として「福利厚生倶楽部リロクラブ」に加入しました。



導入前の3月に職員向けの説明会を全7回実施。勤務の都合上全員参加は難しかったものの、113人が参加しました。全ての説明会で、福利厚生倶楽部の担当者が利用前の準備やサービスの内容等について説明しました。



〈山形〉はやぶさ保育園 春を見つけたよ！

進級して1カ月が経ち、子どもたちは毎日元気いっぱいに活動しています。園庭では冬の間に土の中で眠っていた虫たちが顔



を出し始め、花壇や枯葉の下に隠れているダンゴ虫やミミズ、カエルを見つけ、春を感じています。



府県をはじめ大阪府内でも確認されており、4月13日の大阪・関西万博開幕を受け、麻疹患者の発生がさらに増加することが危惧されます。今後、麻疹を疑う患者の来院や受診依頼などが想定されることから、診療時の感染対策等の初期対応を確認しておくことが安全な診療につながると考えました。



〈大阪〉中津病院 麻疹を疑う患者の受け入れ シミュレーションに50人

4月19日、当院健診センターで麻疹を疑う患者の受け入れを想定したシミュレーションを行いました。

当日は約50人のスタッフが集まり、実際に患者さんが運ばれてきた想定で患者動線、誘導方法、院内の報告体制、感染対策などを確認。質問や意見交換も活発に行なわれ、有意義な時間となりました。

（済生記者 鈴木亜希乃）

topics

スクの装着、酸素ポンベについて演習を行いました。8人はeラーニングで事前学習を済ませていたこともあり、落ち着いて最後まで意欲的に受講できました。

研修後の振り返りでは「患者さんが苦しまないよう配慮しようと思います。デモ機での練習でイメージができました」と、



のほか、吸引器の設置・片付け方法について体験。壁掛け式吸引器の配管をアウトレットに差し込むコツがつかめず、交代で何度も練習しました。酸素療法では、酸素流量計の取り扱いと設置方法、経鼻カニューラやマ

5月2日、増設した駐車エリアがオープンしました。当院は車で来院の方がほとんどで、混雑時は舗装されていない場所に駐車する方もいました。そこで、より当院を利用しやすくするために駐車エリアの拡大に踏み切りました。

4月14日から30日までの期間、病院敷地内の舗装が行なわれたエリアの舗装工事を行

〈福岡〉飯塚嘉穂病院 駐車エリアを拡大

実践への意気込みを語ってくれました。今後も看護師として一歩ずつ成長する姿を見守ってきたいです。

（看護部主任 中山智美）



イオン筑紫野で満員御礼！軽度認知障害の講話会

イオンモール筑紫野内に設置されている「なでしこルーム」で、4月16日、筑紫野市地域包括支援センター・原植義久社会福祉士を講師に軽度認知障害（MCI）についての講話会を行ないました。

〈福岡〉特養むさし苑



ない、駐車可能な台数は従来の164台から87台分増えて251台となりました。今後も当院の利便性向上に努めていきます。

（経営企画室長 春口勇介）



なでしこルームでは月1回、二日市病院と協働して健康・福祉・介護に関する情報発信や相談対応などを担当分野ごとに持ち回りで実施。昨年度は相談会から講話会へとスタイルを変更し、「済生会」でできることをより多くの人に知っていただくことができました。

今年度1回目は当苑の担当で、昨年の6人を大きく上回り13人が来場。会場に入りきらないほどで、急ぎ追加講話会を行ない、隣接店に椅子を貸していただきました。

「参加できて良かった」「勉強になった」「次回も参加したい」などの反響があり、大成功の結果だと自負しています。

（済生記者 岸川涼二）



職員の意見を取り入れ働きやすい制服に

〈新潟〉三条病院

女性事務職員の制服を今年度からリニューアルしました。

新たな試みとして、実際に着用する職員の意見を反映させるために希望者による選定チームを立ち上げています。これまでの「ベスト＋スカート」のスタイルから、上はチュニック、下はパンツまたはスカートをその日の気分や仕事内容に合わせて自由に選べるようになりました。

〈大阪〉千里病院

ラジオ生出演取材

FM千里「寺谷一紀の千里の道は世界へ通ず」内のコーナー「体のことは千里に聞こう」（毎月第1金曜日放送）に、当院の医師やコメディカルスタッフが生出演し、医療情報を発信しています。

4月4日、筆者は出演する松山永得医師に同行し、現場を取材しました。本番前はスタジオで放送スタッフフさんがテキパキと準備する中、和やかな雰囲気



特にパンツスタイルは「動きやすくして仕事がしやすい」と好評です。また、水色のチュニックについても、「爽やかで病院の雰囲気が明るくなったね」と職員からうれしい声も聞かれました。

今後も職員が快適に、そして気持ちよく働ける環境づくりを大切にしていきたいと考えています。（済生記者 樋口拓也）

で打ち合わせが進行。本番は寺谷さんとアシスタントのみちこ

新人看護職員対象 吸引・酸素療法研修会

〈三重〉明和病院

4月30日、今年度入職した新人看護職員8人を対象に、吸引・酸素療法の研修会を行ないました。

デモ機を使用した吸引の実技

えゆうさんの軽快なトークと医師の丁寧な解説で、楽しくためになる放送となりました。

寺谷さんは「自分自身の勉強にもなっている。これからも、自分の経験も交えながら、どんな情報を発信していきたい」と熱く語りました。放送の様子はFM千里のユーチューブでも配信中。ぜひご覧ください！（済生記者 二階堂潤江）





〈福井〉特養聖和園
花桃の香りとともに
心にも春をお届け

5月4日、わらびようデイサービスの利用者さん5人と職員2人で、春の風物詩・花桃を見に和泉村ヘドライブに出かけました。

今回の外出は、満開を迎えた花桃を眺めながら、利用者さんに春の訪れを感じてもらおうと思ひ実施。道中の車窓から見える山あいの新緑や民家の庭先に咲く花々に歓声が上がり、皆さんの表情も自然とほころびます。

和泉村の花桃は例年多くの見物客が訪れる名所で、当日は色とりどりの花が一斉に咲き誇り、まるで桃源郷のような景色が広がっていました。短い時間ではありましたが、自然と笑顔がふれるひとときとなりました。

（済生記者 野尻 宗）

〈三重〉介護老人福祉施設
ようこそ、グルンさん
明和苑

ネパールからの留学生、グルン・アニサさんが介護の養成機関を卒業し、この春から当苑で働いています。日本語学校で1年間、介護の養成機関で2年間学んだ後、介護士として新しい生活をスタート。全てが母国と違う中、「少しずつ仕事には慣れてきました。日本はネパールより寒いです。休日はスパイス



関を卒業し、この春から当苑で働いています。日本語学校で1年間、介護の養成機関で2年間学んだ後、介護士として新しい生活をスタート。全てが母国と違う中、「少しずつ仕事には慣れてきました。日本はネパールより寒いです。休日はスパイス

カレーを作ったり、イオンに買い物に行ったりして過ごしています」と仕事もプライベートも徐々にペースをつかめてきたようです。

当苑の留学生受け入れは、グルンさんで2人目。介護のプロフェッショナルとしての今後の活躍に期待しています。

（副看護部長 椿 真己）

〈三重〉松阪総合病院
学会での発表を評価され
薬剤師会奨励賞を受賞

4月26日、令和7年度三重県病院薬剤師会通常総会が三重県薬剤師会館で開催されました。筆者は6年度に日本腎臓病

薬物療法学会で「タゾバクタム／ピペラシリン投与による急性腎障害に関する検討」、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2024のシンポジウムで「三重県CKDシールの現状と取り組み」CKD進展予防に関して薬剤師に求められること」第35回三重NST研究会学術集会で「大腿骨近位部骨折術後の食事摂取不良に関連する因子の検討」を発表しました。その功績を評価していただき、三重県病院薬剤師会奨励賞を受賞することができ

〈福岡〉二日市病院
悲劇を繰り返さないように
水子供養祭に40人

苑があり、その敷地にある石碑と水子地蔵の前で毎年5月14日に水子供養祭を行なっています。戦後80年を迎える今回は、関係者の親族、市民団体や報道関係者など約40人が参列しました。戦争や終戦後の悲劇を二度と起こさないよう、この歴史を後世へ語り継ぎ供養を続けていきます。

（済生記者 都甲七桜）



ました。今後自己研鑽を積み、疑問点を調べ、臨床研究を続けていきたいと考えています。

5月14日、二日市保養所の跡地で水子供養祭を執り行ないました。当院は昭和22年、済生会福岡病院二日市分院として保養所の施設を借用して開設。その保養所では、終戦後に朝鮮半島や旧満州で暴行を受けた女性たちを救うため、堕胎手術が行なわれていました。分院・保養所の跡地には特養むさし



巡回診療事業を本部が取材

4月22日、当院の巡回診療事業の取材のため済生会本部から3人が来訪しました。なでしこプランの2024年度事業実績報告書に、実際の取り組みを紹介する記事を掲載することと、熊本病院によるローソン移動販売事業と併せて取材が行なわれました。



当日は巡回診療を担当している庄野弘幸名誉院長と山内剛志医事室長がインタビューを受け、オンライン診療を取り入れたことによる移動時間短縮のメリット、処方薬や検査機器を全て持参しなければならぬため事前準備に時間を要することなどを説明しました。その後、現地へ向かい、実際にオンライン診療の様子を見学していただきました。

報告書は6月末に各病院・施設へ配布。本部ホームページ「なでしこプラン」のページでもPDFを公開予定です。

〈熊本〉みすみ病院



ぜひご覧ください。

〈済生記者 船橋麻紀〉

〈福岡〉特養むさし苑
新卒3人が緊張の入職式

4月1日、満開の桜の中、当苑で入職式を行ないました。

今年は新卒3人が新社会人としてそれぞれの部署に仲間入り。入職式では皆さん緊張した様子で辞令を受け取っていました。

田中俊太施設長は「これから待ち受けるさまざまな挑戦や出会いに心を躍らせながらも、責任感を持って自分の役割を全うしてほしい。皆さんの目には希望に満ちた純粋な輝きが宿って



おり、皆さんの姿は周囲に励ましと勇気を与えています」と激励しました。

入職式の後にはオリエンテーションを実施し、済生会やむさし

静岡済生会総合病院

笑和会から認知症マップ
患者さんケアに活用

4月21日、静岡市清水区有度地区の市民団体「笑和会」から認知症マップ30個の寄贈がありました。

認知症マップは毛糸で編まれた筒状の防寒具で、内外にボタンやボール、レースなどの飾りが

苑グループについて説明。また、入職した皆さんの自己紹介と意気込みなどを語っていただきました。

〈済生記者 岸川涼二〉

付いています。認知症患者さんが手の中に入れて指先を動かすことで、気持ちが落ち着き、不安の軽減に効果があるとされています。

当院でもケアの一環として認知症マップの活用を検討しており、以前高齢者施設へ認知症マップを寄付した実績のある笑和会に協力を依頼しました。

同会代表の青木京子さんは

「患者さんに自由に使ってもらい、気持ちが落ち着くならうれしい」と話しました。寄贈を受けた杉村きよ美看護部長は「認知症マップを活用することで、患者さんがより安心して入院生活を送れるようになると期待しています」と感謝の言葉を述べました。

〈済生記者 酒井あい〉

〈大阪〉吹田病院
地域と手を取り合って
認知症患者を支える

4月15日、当院のソーシャルワーカーと吹田市の地域包括支援センター、認知症地域支援推進員が集まり、前年度の活動の振り返りや今年度の実施計画について話し合いました。

当院は2023年5月から地域包括支援センター、認知症地域支援推進員と協働して、一般市民を対象に公民館とのコラボレーションによる出前講座、吹田市オレンジフェア、市民公開講座を実施。また、当院職員を対象に事例検討会などを行なってきました。

この取り組みも今年で3年目。地域と病院が手を取り合い、認



知症の方とその周囲の方々が笑顔で暮らせる環境を育んでいきたいと思っています。「継続は力なり」の言葉を胸に、今後も医療と介護の連携をさらに深め、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

〈福祉医療支援課
MSW 係長 川端奈緒美〉

新潟病院
院内コンサートに50人

4月19日、入院患者さんを対象に院内コンサートを開催しました。県内を中心に演奏活動をしているソプラノ歌手の飯塚智恵子さんと、ピアニストの青柳佐和子さんが出演。新型コロナウイルスの影響により長らく休止してい



ましたが、昨春秋に5年ぶりに再開し、今回は復活後2回目です。

「花」「朧月夜」などの日本歌曲から始まり、「野ばら」「アベマリア」などのクラシック、「糸」「いい日旅立ち」などのポップスまで幅広いプログラム。会場の正面玄関ホールは素敵な歌声とピアノの音色に包まれました。最後は「ふるさと」を皆で熱唱、アンコールも飛び出すなど、心温まるコンサートとなりました。

院内コンサートは秋にも開催する予定です。大変な入院生活の中に少しでも潤いを感じていただけたらと願っています。

〈総務課 吉川未織〉

topics

昨年秋から、退院前の心不全患者・家族を対象に「救急重要請」「心肺蘇生」のレクチャーを行なっています。

講師の浅野正巳心不全看護認定看護士と嶋田勇一救急救命士が、退院後に再び胸痛が発生したり、心肺停止状態になっ

退院前の患者・家族に心肺蘇生等のレクチャー

〈茨城〉龍ヶ崎済生会病院



を中四国地方では最も多く抱える当院と協定を締結することで、若年層の1型糖尿病患者に対する支援がさらに広がることを期待されます。

(総務部次長 川上健二)



携帯電話のスピーカー機能を使って、救命処置をしながら救急隊と通話したり、患者さんの胸部に手を当てて胸骨圧迫の位置を確認したりと、本番さながらの訓練も。

これまでに3回実施し、患者さんやご家族からは「一次救命処置だけでなく救急車要請時の救急隊との実際のやり取りを学ぶことができ、とてもありがたい」との声が寄せられています。

(済生記者 堀越琴美)



ミyakミyak現れる!?! こいのぼり登場

5月5日、当施設では恒例のこいのぼりを設置しました。例年は中庭にこいのぼりが優雅にのぼっていますが、今年は万博ということで、こいのぼりもミyakミyakをかたどった万博仕様に……。入居者さんにも制作を手伝っていただき、室内に展示しました。

コロナの影響は現在もあり、外出するのは難しいのが現状です。



す。万博に行くことはできませんが、せめて気分だけでも楽しんでいただきたいと思います。ミyakミyakのパネルなども制作。ミyakミyakのことを知らない方もいましたが、皆さん笑顔で一緒に記念撮影をしてくださいました。

昔の万博のことを尋ねると、行ったことがあると思ひ出話をしてくださる方もいました。皆さんにとってちょっとした楽しい出来事になればと思います。

(なでしこ介護課 ユニットリーダー 高木政幸)



「ダヴィンチ」手術 300症例を達成!

〈群馬〉前橋病院

令和4年12月25日に導入された手術支援ロボット「ダヴィンチ」。

令和5年2月に直腸がんの手術を初めて実施して以来、消化器外科症例を積み重ねてきました。

令和6年3月には100症例、令和7年4月に300症例を突破しました。

わずか2年2カ月でこの成果を達成でき、スタッフからは「短期間で、消化器症例のみでここまで到達できたのは非常に嬉しい」「これからどんどん症例数を伸ばしていきたい」と喜びの声が上がりました。

4月25日には300症例達成を記念して、外科医師、看護師、臨床工学技士が「ダヴィンチ」の前で記念撮影を行ないました。

今後も新たな技術を取り入れ、多様な選択肢の中から最善の手術を安心・安全・確実に提供できるように努めていきます。

(済生記者 川上佳代)



臨床研修病院合同説明会 出席ブースに32人

5月11日、札幌パークホテルで開催された臨床研修病院合同プレゼンテーション「道プレ2025」(北海道主催)に出展しました。当院からは和田卓郎院長、明石浩史臨床研修センター長のほか、専攻医1人、今年度初めて迎えた基幹型研修医2人も参加し、万全の体制で臨みました。

和田院長自ら率先しての積極的な声掛けが奏功し、事前の予想を大きく上回る32人もの学生が当院ブースへ来場。準備していた資料が不足してしまいました。当院の採用枠はわずか2人

ということもあり、これ以上集まっても面接などの対応が難しくなると判断し、終了予定時刻の午後3時を待たずに1時30分でブースを終了しました。

来場した学生の皆さんとは、来年研修医として再会できることをスタッフ一同楽しみにしています。

(広報室長 松尾覚志)

岡山済生会総合病院 若年1型糖尿病患者を支援

3月26日、当院は認定NPO法人日本IDDMネットワーク(本部・佐賀市)と「成人1型糖尿病患者への医療費支援に関する協定書」を締結しました。

20歳以降は公費による医療費助成が終了するため、経済的な理由からインスリンポンプ治療を断念せざるを得ない若年層の1型糖尿病患者が少なくありません。そこで、4月から当院の1型糖尿病患者への医療費支援活動を開始しました。支援対象は25歳までとなります。

同法人が特定の医療機関と協定を締結するのは初めて。インスリンポンプ治療を行なう患者

〈兵庫〉 済生会ハーモニー 笑顔のお花見ドライブ

済生会ハーモニー（神戸市重症心身障害者日中活動支援事業）は、4月7日にお花見ドライブ＆交流会を実施しました。同法人内特別養護老人ホームや、訪問介護サービスなどの部署に入職した職員の研修の一環とし、当日は利用者さん2人、新入職員5人、ハーモニー職員1人が参加。とてもよい天候に



恵まれ、八多川沿いに立ち並ぶ満開の桜の木々を下から見上げると、美しい春の光景が広がっていました。

また、目や耳が不自由な利用者さんは、木漏れ日のぬくもりやそよぐ風を頬に感じ、散りゆく花びらが運ぶ桜の香りなどを感じて楽しむことができました。利用者さんにも新入職員にも笑顔が見られ、楽しいドライブと交流の一日となりました。

（障害福祉課副主任 サービス管理責任者 鳥居信彦）

〈三重〉 明和病院 自らのビジョンを語る

令和7年度に採用された経営マネジメントスタッフ7人が新採用者オリエンテーションを終え、4月28日、それぞれが見て感じてきたことをもとに「自らのビジョン」を語る場を設けました。

当日は事務部48人が参加。新人7人は、これから済生会人を体現していく上で何が必要なのか、おのおのが感じたキーワードを披露しました。なぜ、疑問心、追求、業務改善と雰囲気づくり、パッション、



オールマイティ、認識のすり合わせ、人財育成、信頼……新人たちが考え出した言葉です。参加した全員がこれからの見つけ直す時間となりました。

（総務課長 山田範子）

香川県済生会病院 Instagramを開設

4月1日、当院公式Instagramを開設しました。日々の様子を写真と共に投稿するInstagramで、当院の



年齢・職種の垣根を越え ワールドカフェで連携強化

〈愛媛〉 西条病院

入職後1年未満の職員を対象としたワールドカフェが3月14日に開催され、筆者を含め21人が参加しました。当日は4グループに分かれて、ペーパータワー研修を実施。第1ラウンドでは、作戦タイムでタワー作成の工程についてグループ皆で意見交換し、その後、組み立てタイムに入りました。筆者のグループが何とか完成させたタワーはすぐに倒れそうで不格好でしたが、和気あいあいと作業できました。第2ラウンドでは、安定したタワーを作ることを意識しすぎて、どのグループよりも低いタワーとなってしまうしました。

優勝に輝いたグループのペーパータワーは高さ2メートルほどにも及び、圧倒されました。年齢・職種関係なく、多くの人と意見を出し合い一つの物を作り上げた時間は、大変充実したものとなりました。

（済生記者 山之内由美）

長野保育園 保育園へようこそ！

4月24日に新入園児13人の歓迎会がありました。年長児18人はこの日のために「やさいさん」の絵本に出てくる野菜のお面や、ちょうちょうのステッキを一生懸命作成。それらを持って、新入園児の部屋



ことや、どのような活動を行っているのかを、患者さんご家族、地域の皆さんに直接伝えることができます。働いているスタッフの生き生きとした様子や、イベント情報なども発信していく予定です。

投稿を見て当院に親しみを感じてもらい、患者さんがより安心して治療を受けられる環境を整えることができます。また、当院の魅力を伝えることで、新たな職員の採用にもつながるのではと期待しています。

今後もフォロワー数や「いいね！」の数を増やすために投稿を頑張っていきます。皆さんのフォロー、そして「いいね！」を心よりお待ちしております。

（済生記者 長尾美甫）



でアンパンマンの手遊びやちょうちょうの歌、やさいさんの絵本の読み聞かせをしました。

入園児たちは、お兄さんお姉さんの発表する姿をとまどうれしそうに見つめていました。最後に心のこもった手作りカードをプレゼント。カードを渡す際に「たくさん遊ぼうね」「おめでとー」と温かい声を掛け、入園児はうれしそうに受け取っていました。

年長児の頼もしさを感じながら、こうした優しく思いやりのある気持ちを大切にして、今年度も元気に過ごしていきたいと思っています。

（済生記者 丸山 葵）

〈兵庫〉特養ふじの里 西館創立20周年 お寿司を堪能

ふじの里西館創立20周年のお祝い行事を4月1日に行ない、入居者50人、職員6人が参加しました。

これまでの20年を支え、これからの西館を支えてくださる入居者さんとご家族、職員に、厨房スタッフが腕を振るいお寿司を握ってくれました。目の前でお寿司を握っているのを「上手やなあ」と集中して見ている方、お寿司を食べることに夢中で「おいしいよ、まだある?」とお代わりをする方も



……普段なかなか食べられないお寿司を皆で堪能し、一緒に祝い気分を楽しみました。

この先30年、40年も皆さんと一緒に祝いできればいい



いなと思います。

〈西館介護課 介護副主任
山口貴美子〉

〈奈良〉老健シルバーケア まほろば お店でリハビリ・医療相談 地域のつながりを実感

4月30日、イオン桜井店で「リハビリ体操&医療相談会」を開催しました。

大型連休期間中에서도いつもより多くの人でにぎわう中、専門職による簡単リハビリ体操（棒体操）と医療相談、桜井市地域包括支援センターきぼうによるフレイルチェックに加え、株式会社ヤマシタの協力のもと、5メートル歩くだけで歩行状態や



転倒リスクを測定できる「AI歩行解析」も実施するなど内容をパワーアップ。20人が来場しました。

きぼうの活動の参加者が来てくれたり、前回イベント（本誌2024年12月号掲載）時にプレゼントした「マイ棒」を持参して参加してくれたり……。地域交流が増えていることを実感でき、とてもうれしくなりました。

このイベントは年2回行なっており、次回は来年2月の開催を予定しています。

〈済生記者 林 嘉夏〉

〈福岡〉特養むさし苑 たくさんコイが泳いでる！

4月28日、筆者を含む職員9人で小さなこいのぼりをおおよそ200匹、大きなものを6匹、



当苑の中庭に飾り付けました。大空を悠々と泳ぐこいのぼりを目にした入居者さんはとてもうれしそうに「たくさんコイが泳いでいるわ」「大きなコイやねー」と喜んでいました。

こいのぼりは端午の節句（こどもの日）を祝うために飾られる日本の伝統的な習慣で、子どもの成長と健康の願いが込められています。同時に豊かな季節の移ろいを楽しむ心の表現でもあり、入居者さんやご家族の皆さんにも楽しんでいただいています。

〈済生記者 岸川涼二〉

地域の大型イベントでDMATカーお披露目

〈群馬〉前橋病院

5月11日、前橋市東地区の「のびゆくこどものつどい」に参加し、クラウドファンディングで新調した救急車（DMATカー）

を展示しました。

毎年地域の子どもたちが集まる大きなイベントで、今年は約1600人が来場。初出展の



滋賀県病院 手術看護の可能性を広げる

当院の佐々木光隆看護師（日本手術看護学会理事）が大会長を務める第12回日本手術看護学会近畿地区大会が、7月5日から8月18日までオンデマンド配信されます。

テーマは「手術看護の可能性が広がるパラダイムシフト―支える・つなぐ・つなげる力で手術看護のさらなる発展を―」。日本手術看護学会会員をはじめ、周術期看護・医療に携わる看護師から学生までを対象に、招待講演、シンポジウム、認定看護師企画、共催セミナーなど多彩なプログラムが予定されています。

佐々木看護師は「急速に



変化・進化する医療現場では、手術室看護師が果たすべき役割はますます重要になっています。本大会が周術期看護の未来を見つめ直すきっかけとなり、さらなる発展の一助となることを願っています」と述べました。

〈経営企画課 鵜飼健成〉

な姿に、スタッフ3人と中学生ボランティア5人もたくさんパワーをもらいました。

地域との交流が深まるこの貴重なイベントに、来年もぜひとも参加したいと思っています。

〈広報・情報課 主任
川原田直樹〉

最新の福祉機器に触れて

インテックス大阪で4月16・18日、バリアフリー2025（第31回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展）が開催され、当園介護職員2人が16・18日の2日間、参加してきました。

会場では最新の車椅子、介護



いい思い出になりました」という感謝の声が寄せられました。

（済生記者 山浦裕子）

抱っこ紐の試着体験会で地域の企業と交流深める

4月15日、港区でオリジナル抱っこ紐の開発販売を展開しているメーカーのポンテ・パシフィック株式会社の方が来院し、産科病棟のスタッフ3人（看護師長、助産師、医師）が参加してオリジナル抱っこ紐の試着体験会を実施しました。

通常、抱っこ紐は赤ちゃんの首が座ってから使うので院内で使用することはありませんが、地域の企業との交流を目的に実

（東京）中央病院

を具体的にイメージすることができました。また、各メーカー担当者から直接説明を受けることもでき、製品の特長や導入事例についても理解を深めることができました。

施設。着用の身体への負担軽減、着やすさ、子どもとの一体感が持てる着心地、ファッショ性の高さ、生地素材の良さなど、参加したスタッフからは好評価でした。

当院と同じ港区で活躍する企業との交流をさらに深め、協力して地域のまちづくりなど地



域貢献への取り組みにつなげていくきっかけとなる大変有意義な機会となりました。

（済生記者 笠松英朗）

ができました。

今回のバリアフリー展を通じて得たことを、今後の介護現場で生かしていきたいと考えています。

（済生記者 黒木洋輔）



松並元看護部長が瑞宝双光章を受章

滋賀県病院

2025年春の叙勲で、当院の元副院長兼看護部長で現在は特養淡海荘の院長を務める松並美さんが「瑞宝双光章」を受章しました。

松並さんは約40年間にわたり当院の看護業務に従事しました。ドクターヘリ事業のフライトナース育成や、医療と介護の円滑な連携を目指して入院センターの立ち上げを主導するなど、地域医療の充実に貢献。さらに、滋賀県看護協会の看護活動推進委員会委員長として看護職の就業促進や働き方改革にも尽力し、看護業界全体の発展にも寄与しました。

松並さんは「この度の受章は私個人の力によるものではなく、看護部全員が積み重ねてきた日々の努力が評価された結果だと感じています。これからも皆さまと共に地域医療の充実に努めていきます」と述べました。

（経営企画課 鶴飼健成）



奈良県済生会では、4月23日に令和7年度新規採用職員等研修を開催し、奈良病院・中和病院・御所病院・老健シルバークアマはろばに新たに加わった70人の職員が参加しました。

新入職員へ向けた炭谷茂理事長のメッセージ動画の視聴や、今川敦史支部長、奥田善之支部常務理事による「済生会の理念と役割」「済生会における仕事の進め方」の講義がありました。また、「真の済生会人をめざして」をテーマとした職種別のグループワークでは、活気あふれるディスカッションが行なわれ

奈良県済生会

真の済生会人をめざして

（長野）佐久市特養
シルバーランドみついで
誰もがつと
バイオリンコンサート

4月28日、当施設の中庭に30人の参加者が集まり、バイオリンコンサートが上がりました。このコンサートは入居者さんのご家族のバイオリン奏者・小林一恵さんのご厚意により実現しました。

メンデルスゾーンの「春の歌」、葉加瀬太郎の「情熱大陸」など全8曲が披露され、30分間にわたり美しい旋律が施設全体に響き渡りました。アンコールは「川の流れるように」で、その美しい音色に合わせて口ずさむ参加者もいました。

中庭という開放的な空間で行なわれたため、2階のテラスからもコンサートを観覧することができました。参加者からは「素敵なコンサートで、とても

れ、同じ思いを持った発表者の言葉に聞き入りうなずく姿も。済生会人となるための団結力や頼もしさを感じられる大変有意義な研修となりました。

（済生記者 山岡陽子）



〈茨城〉神栖済生会病院
院外で初めての
看護の日イベント

5月11日、看護の日の市民向けイベントを院外で初めて開催しました。
当日は無印良品オーグビレッジかみす店にブースを出展。無印良品の防災グッズやレトルト食品の試食、看護師による血圧測定や健康相談、バンダナやビニール袋を用いた災害時の応急処置の実演・体験などが行なわ



れました。また、子どもたちには白衣試着や写真撮影コーナーが大好評。その他、当院の看護師紹介パネルの展示や看護職への就職相談も行なわれました。
延べ136人が来場し、「防災食やグッズを揃えるきっかけになった」「血圧が確認できてよかった」「災害時の応急処置方法を学べてよかった」など、たくさんの感謝の声が寄せられました。

（済生記者 江口裕紀）

福井県済生会病院

看護の日イベントで
おうちの介護を身近に

当院では、1997年から毎年テーマを決めて「看護の日」



にちなんだイベントを開催しています。今年は5月12日に「地域で支えるおうちの介護」をテーマに実施。コロナ禍で展示のみとなった年もありましたが、昨年1月の能登半島地震を受け、身近なところから地域を支えたいとの思いで再開しました。

当日は専門看護師によるミニレクチャーや体験コーナーを実施し、延べ150人程度が参加。来場者は皮膚の水分量チェックや体脂肪測定などを通じて看護や健康を身近に感じていました。また、高齢者が筋力を維持し、心身の活力低下を防げるよう、フレイル予防体操も行ないました。

終了後、猪之詰美香看護副部



〈滋賀〉守山市民病院
写真展で介護の「ココロ」を

病院や医療を身近に感じていただくことを目的に、5月11日、院内で看護の日イベントを開催しました。

当日は赤ちゃんから高齢の方まで、93人が来場。昨年も好評だった手術室見学や手洗いチェックのほか、骨密度・血管年齢



長は「2025年問題の年を迎え、おうちの介護を身近に感じてほしい、相談の声をあげる人が増えてほしい」と話していました。

（済生記者 橋本来林）



看護の心をみんなのところに
済生会守山市民病院



などの測定コーナー、白衣試着体験など、病院や健康について楽しみながら知ってもらえるコーナーを設けました。また、今年は新たに「看護のココロを感じる写真展」を企画し、職員が撮影した写真とともに、看護の様子やスタッフの思いを紹介しました。

（済生記者 中嶋元香）

〈大阪〉中津病院

ナイチンゲール像のもと
「看護の心」を伝える

5月14日、看護の日にちなんで「看護フェア」を開催し、85人が来場しました。

当日は看護師による血圧測定・皮膚の水分量測定コーナーのほか、口腔ケア相談窓口、管理栄養士による栄養相談窓口を設置。測定結果を見て「喜」「憂」する方々もいて、相談窓口も「ちょうど口腔ケアの相談がしたか



った」「減塩食の工夫をぜひ試してみたい」など好評でした。

また、ボランティアさんの協力による、ペットボトルのふたを使った小さな帽子の手作り体験では、親子で楽しんでいる姿が印象的でした。

主催した井上優子管理師長は「今年は中津看護専門学校で長年多くの卒業生を見守り見送ってきた看護の大先輩、ナイチンゲール像を設置して開催。時代は変われど『看護の心』を後世に伝えていくことが私たちの使命でもある」と話していました。

（済生記者 鈴木亜希乃）





山口総合病院

看護の魅力伝える場に

5月13日、「看護の日」に合わせて院内イベントを開催しました。

当日は100人ほどが来場。医師や認定看護師による健康相談、血糖・血圧測定、心肺蘇生法の実演、看護師の仕事を紹介



京都済生会病院

看護の日イベントで講演や骨年齢測定

5月12日、当院で看護の日イベントを開催しました。なでしこホールでは中曽根朱美・認知症看護認定看護師が「正しく知ろう認知症」、福永恵皮膚・排泄ケア認定認定看護師が「便秘の基本」をテーマに講演し、42人が来場しました。皆さんとても興味深い様子で「講演の資料が欲しい」「昨年聞きに来ていました」などの声が聞かれました。

また、2階エレベーター前では、看護師の忘れられないエピソードの展示と骨年齢測定を実施。118人の測定をしました。



た。多くの方が普段から運動や食事に気を付けているようで、中には実年齢より若い結果が出ている方もいました。

(4B病棟・産婦人科小児科外来 看護課長 森ゆかり)



寝たきりにならないために

5月10日、飯塚医師会館・講堂で西日本新聞市民医療講座が開催され、当院整形外科の三好賢一主任部長が「寝たきりにならないために」骨粗しょう症について」と題して講演を行いました。

この講座は、地元の西日本新

三重 明和病院

メモを取って正確に理解・把握

4月4日、新人看護師12人が一般病棟に配属されました。患者さんに寄り添える看護師になるために、一歩を踏み出したばかりの新人たち。毎日が覚えることだらけで頭がいっぱいになることでしょう。先輩看護師からの指示を正確に把握して理解するためにも、メモを取る

ように指導しています。

メモは確認することによって初めて意味を成します。

最近「先輩が丁寧に指導してくださるので、できる業務が増えてきました」といった声も聞かれるようになりました。先輩看護師たちのアクションも上がっています！

(副看護部長 椿 真月)



済生会看護部リクルートサイトオープン！

あなたも「なでしこナース」になりませんか？



<https://www.saiseikai.or.jp/nurse/>

topics



地域とともに歩む記念事業、
済生会フェア「ホスピタルパー
**80周年記念イベントに向け
大阪成蹊大の学生とコラボ**



した。須田さんは「終末期治療を行なっている患者さんの診療の場を目にするのは、初めての経験でした。患者さんやご家族とのやりとり、声かけの一つひとつがとても勉強になりました」と話してくれました。

当院では、7月以降にも実習生4人を受け入れる予定です。これからの地域医療を担う皆さんのことを当院職員一同応援しています。

（済生記者 亀尾美子）

〈大阪〉吹田病院



〈滋賀〉特養淡海荘
フラダンスでハワイ気分

4月15日、Minako Hula Studioの山田美奈子さんとその生徒さんが来訪し、フラダンスを披露してくれました。途中、美奈子先生に振り付けを教えてもらいながら「憧れのハワイ航路」の音楽に合わせて会場にいる約90人皆で踊る時間も。皆さんとても笑顔が素敵で、短いひとときではありましたがハワイにきた気分を味わうことができました。



Minako Hula Studioの皆さんは、今年9～10月に滋賀県で開催される国民スポーツ大会の開会式のパフォーマーには選ばれており、利用者の皆さんで応援してください。



クで感動を」が企画進行中です。2025年10月に創立80周年を迎えるにあたり、地域の皆さんへの感謝を込めた記念イベントを10月18日に開催予定です。その一環で、大阪成蹊大学経営学部経営学科公共政策コースの学生とのコラボレーション企画を進めています。昨年度、学生の皆さんから寄せられた数々の提案をもとに記念事業のコンセプトを策定し、その中からいくつかの企画を採用。皆さんには運営面からの参画をお願いします。

援したいと思います。

（介護課係長 宮下達也）

福井県済生会病院

**ペイシエントハラスメント
対策訓練**

5月16日、福井警察署の協力のもと、院内でペイシエントハラスメント対策訓練を実施しました。

今回の訓練では、夜間にアルコール中毒で搬送された患者さんが興奮状態に陥り、暴言・暴力を振るうというシナリオのもと、初期対応から「コードホワイ」（院内緊急対応招集）の発令・対応までをシミュレーションしました。



ヨンしました。

訓練後、警察署のスタッフは「酔っ払いの手を押さえると、頭突きや噛みつかれることも多い。身の危険を感じたときには、安全を確保しつつ110番通報してほしい」と解説。当院警備主任の山内一之さんは「緊迫した状況の中で、自分はどういった判断ができるのかをしっかりと考えることが重要だ」と話していました。

（済生記者 橋本来林）

〈鳥取〉境港総合病院

**地域医療の未来を担う
実習生受け入れ**

当院では4月7日から5月2日までの約4週間にわたり鳥取大学医学部医学科6年生1人を受け入れ、臨床実習を行ないました。

実習生の須田大陽さんは、当院の消化器内科医師とペアを組み、外来診察、内視鏡検査、消化器外科手術の見学や担当患者診察などの外来・病棟業務をマンツーマンで学びました。

実習最終日には当院消化器内科の医師たちを前に、受け持ち患者さんの症例発表を行ないま

4月16日には学生22人が来院し、病院側から今後の企画内容の骨子を説明。若い世代の視点や柔軟な発想を取り入れながら「教育」「創意工夫（イノベーション）」「地域貢献」を柱としたまちづくりの取り組みを進めていきます。

（総務課 岡利悟志）

〈山口〉下関総合病院

院長の飛び入り参加で……

師会等からの講演がありました。このイベントのクライマックスは各病院の紹介＆研修医の自己紹介です。わずか数日で出し物を考えてくる病院もある中、当院はその他多数の病院と同様、無難に終わりそうでしたが、森健治院長が飛び入り参加！ 他院の院長・管理職の先生方に要望を出したり、語りかけたりして会場を巻き込み、一番の盛り上がりを見せました。

（呼吸器内科 宇山和宏）



〈神奈川〉 横浜市東部病院 病院へのアクセスを もっと分かりやすく

3月28日、綱島駅方面と鶴見駅方面の2カ所の道路標識横に、当院の看板が設置されました。総務室が発案、中心となり他部署と協力しながら進行。試行錯誤をしながら約1年をかけた、ようやく設置の日を迎えました。

当院は鶴見区唯一の救命救急



センターであり、横浜市重症外傷センターも担っています。近隣都県からも多くの患者さんが搬送され、有事の際は災害拠点病院として全国からDMATが参集します。そのため、一番

分かりやすいところに案内標識を設置したいと考えました。主担当を務めた同室の田中美穂主任は「前例がない」に屈せず、最終的には行政も仲間になった一緒に頑張ってくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです」と話しました。

（済生記者 荒木愛美）

〈東京〉 向島病院 落ち着いた対応のために

4月2日、毎年恒例の初期消防講習会を実施し、今年度の新入職員と昨年度の中途採用者合わせて約20人が参加しました。当日は向島消防署から職員2人が来院。初期消火の大切さ、通報の仕方、消火器の操作方法などの指導をしていただきました。

消火器の操作練習では、水を充填した訓練用の消火器を使って、火元を想定した的に水を当てる練習をしました。消火器の



操作が初めて・経験が少ない職員は緊張して、狙いを定める前にレバーを握ってしまいます。訓練でも緊張してしまうので、本当の火災を目の当たりにした際の「頭真っ白さ」具合は、想像に難くありません。

少しでも落ち着いて対処できるように、訓練の内容を忘れず、日ごろからイメージトレーニングをして、気持ちの面でも備えておきたいと思っています。

（済生記者 加藤建志）

〈広島〉 老健はまな荘 ケーキバイキングで 利用者さんも笑顔

3月12日、4階療養棟のレクリエーションで「ケーキ屋さん」と題してケーキバイキングを行いました。約70人の利用者さんが楽



しみました。

西夕麻さん、平山由美さんの2人の管理栄養士がアイデアを出し合い、打ち合わせを重ねて開催にこぎ着けました。メニューはイチゴショート、レアスト

づくり尽力していきたい」と力強く決意を述べました。成川さんは日頃から明るい笑顔と絶えず、周囲を和ませる

（済生記者 原 衣里奈）

〈茨城〉 神栖済生会病院 「薬薬連携の会」初開催 地域の薬剤師と連携強化

4月18日、第1回神栖済生会病院薬薬連携の会を開催しました。本イベントは当院薬剤科主催で近隣の保険調剤薬局の薬剤師との連携強化を目的としたもので、35人が参加しました。

（済生記者 江口裕紀）

のような勉強会を開催してほしい」と多くの反響がありました。次回は秋頃に開催し、地域連携をより深めていきたいと考えています。



和やかに永年勤続表彰 笑顔で働きやすく！

4月25日、当院講堂で永年勤続表彰式が和やかに執り行なわれました。今年度は30年勤続7人、20年勤続12人、10年勤続25人の計44人の職員が表彰されました。式では、表彰者代表として看護部副部長・成川睦美さんに佐藤雅彦病院長から賞状が読み上げられ、授与されました。

続いて、成川さんが謝辞とともに「職員が安心して働き続けるためには職場に笑顔が必要。これからも人と人との温かいつながりを感じられるような職場

づくりを続けていきたい」と力強く決意を述べました。成川さんは日頃から明るい笑顔と絶えず、周囲を和ませる



〈埼玉〉川口総合病院 川口乳児院起工式 建設工事の安全を祈願

4月8日、川口乳児院建設事業の起工式が厳かな雰囲気の中執り行なわれ、建設会社の皆さんと当院職員合わせて26人が出席しました。



川口乳児院は、保護者のもとで暮らすことが難しい乳幼児を養育する施設として昭和54年に開設し、今年で46年目を迎えます。現在の建物は老朽化が進んでおり、このたび新たな建物として生まれ変わることになりました。

新築する乳児院では定員30人を継続し、完成は令和8年5月を見込んでいます。同院の八木橋克己院長は「新築後は『小規模グループケ

非造影MRIによる 新たな評価法を提案

〈福岡〉二日市病院

2月11日に当院の「非造影心臓MRIによるPCI後の微小血管障害の評価」の研究が、放射線医学の分野で非常に信頼性が高く、影響力もあるトップクラス（上位10%）のジャーナル「European Radiology」に受理されました。

急性心筋梗塞の治療は再灌流療法の進歩により多くの患者の予後が改善している一方で、早期治療にもかかわらず、予後不良な症例の存在も分かっています。その一因が「冠微小循環障害（CMVO）」です。CMVOは主要冠動脈の血流再開が成功しても末梢の微小循環に障害が残る状態で、従来の冠動脈



造影では評価が困難でした。造影MRIによる診断も可能ですが、急性期は腎機能低下により造影剤の使用が制限されることも。そこで、非造影MRIによる新たな評価法を提案し、その有効性を報告しました。

（放射線部 主任 新井英雄）

〈東京〉向島病院 さすまたで病院を守る！

4月11日に「さすまた」の正しい使用方法習得のための防犯講習会を実施し、職員約50人が参加しました。

病院など不特定多数の人が出入りする施設においても、凶悪犯罪の増加により護身用具の配



備が進んでいます。当院も患者さんをはじめ、職員の安全を守るという観点から、2月5日にさすまた2本を整備しました。

講習会の内容は、さすまたの効果的な使用法のほか、暴力・

暴言・クレーム対応など。警察OBの講師の迫力ある実演は怖さがありながらも時には笑いもあり、参加型で実践的な講義は実務にとっても役立つ内容でした。

講習会後には、多くの参加者から「とても有意義な会だった」との声が上がり、今後も定期的に開催を検討していきたいと思っています。

（総務課 馬場良子）

〈福岡〉飯塚嘉穂病院 楽しいウォークラリーで 糖尿病の啓発

4月13日、日本糖尿病協会福岡県支部などの共催で筑豊糖尿病ウォークラリー大会が筑豊緑地で開催されました。このイベントは、糖尿病啓発と関係者の親睦を目的に毎年行なわれています。

当日は開会式の後、1分間隔で各チームがスタート。1チーム6〜8人で、ウォーキング中にクイズやゲームが行なわれ、楽しみながら2・5キロのコースを歩いていきます。

今回は、医療関係者と地域住民合わせて総勢150人が参

〈大阪〉富田林病院 子どもたちの安全を守る

5月9日、当院の救急看護認定看護師が「ともっち保育園」に出張し、保育士の先生を対象に小児BLSとエビペンの使用方法についての講座を開催しました。

本講座では、小児の基本的な救命処置であるBLS（基本生命救命技術）と、アレルギーによるアナフィラキシーショックが起きた際の緊急治療キット「エビペン」の使用法について解説しました。さらに、練習用の子どもの人形を用いて実技練習も行ない、先生方には実際の



状況を想定した操作の体験をしていただきました。

講座には15人が参加。子どもたちの安全を守るため、真剣に取り組む先生方の姿に我々も感銘を受けました。

（済生記者 島崎寛将）

topics

奈良県立宇陀高等学校大宇陀学舎こども・福祉科の2年生からケア帽の寄贈があり、3月4日に贈呈式を行いました。

このケア帽子は、保冷剤を入れるポケットが付いていたり、マスクがついていたり患者さんのニーズに対応できるよう工夫されています。

生徒たちの「心を込めて作りました。お使いください」のメッセージとともに約25個のケア帽子を受け取り、中島祥介院長は「平成28年から続



高校生が心を込めて制作 ケア帽子25個の寄贈

奈良県立宇陀高等学校大宇陀学舎こども・福祉科の2年生からケア帽の寄贈があり、3月4日に贈呈式を行いました。

「感謝いたします」と来院した生徒2人に感謝の言葉を伝え、感謝状と記念品を贈呈しました。

(済生記者 米井 悠)



ホームページを公開しました。

このホームページは、当院で実施される治験や臨床研究に関する情報を、患者さん・地域医療機関・企業といった多様な関係者に向けて、それぞれの立場に応じた形で適切に発信することを目的としています。これにより、研究活動の透明性と信頼性を高め、地域医療との連携や



企業との協力体制の強化を図ります。

現在、ホームページでは基本的な情報提供を開始しており、今後は「研究者の方へ」「企業の方へ」といった専用ページを公開予定。これらのページでは、研究支援制度や共同研究の案内など、より実務的な情報を段階的に提供していく予定です。

(臨床研究管理室 上田恵菜)



カフェ空間を満喫

3月26日に「ひばり喫茶」を開催し、職員10人と入所者70人が参加しました。

施設の窓には入所者さんと一緒に作成した桜やちようちよう、テーブルにはお花を飾り、カフ

エの空間をつくりました。入所者さんは風に揺れて舞うちようちようや桜を見て「きれいやね」「かわいい」などと喜んでいました。

天気も良く桜も満開。春の暖かい風を感じながら、コーヒーや桜餅風のデザートを召し上がり、皆さん楽しそうでした。

(済生記者 谷口知恵子)

〔福岡〕老健ケアホーム・さいせい



「新春の集い」を初開催

4月18日、おおむたハイツで「新春の集い」を初開催しました。大牟田医療福祉センターでは例年、年末に忘年会を開催していましたが、今年度は新入職員が入職してまもない時期に変更して開催し、154人が参加しました。

当日は来賓に福岡県済生会の大森徹支部長と本多一雅事務局長をお迎えしました。センター長・施設長・来賓の挨拶と乾杯の後は、スタッフによる余興の時間。昨年度に引き続き、歌の

〔福岡〕大牟田病院



お兄さん・お姉さん（病棟看護師）が歌を披露し、その歌唱力に会場は魅了されました。リハビリチームの出し物も例年通り趣向を凝らしたもので、多くの笑いと元気を届けてくれました。

最後に恒例の福引大会が行なわれました。数々の豪華賞品に加え、施設長賞・センター長賞もあり、大いに盛り上がりしました。

(済生記者 松田あゆみ)

治験や臨床研究の情報を各立場で発信する

1月1日に発足した臨床研究センターは、4月30日に専用ホ

熊本病院

WEB掲載はじまりました！ 済生会 topics WEB

機関誌「済生」に投稿された topics から厳選した記事を発信中！



<https://www.saiseikai.or.jp/topics/>



（愛媛）小田診療所 新人向け消防設備研修

4月28日、新入職者1人を対象に消防設備の研修を行いました。当診療所では自衛消防組織を整えています。平日や時間帯によって職員数にばらつきがあるため、全職員が通報・消火・避難誘導等すべてに対応可



能な体制づくりを目指しています。当日は、普段立ち入ることのない機械室などへも案内し、消火器と消火栓、火災通報装置の配置を確認。それぞれの操作方法を指導しました。

新入職員は消火器の取り扱いが熟知していましたが、消火栓や火災通報装置については経験

がなく戸惑いがあったようでした。今後、火災訓練などを通じて確実に身に付けてもらいたいと思います。
（済生記者 福岡博美）

（三重）明和病院

新入職員対象のリハ研修 セルフケアの心構えを学ぶ

令和7年度に採用された看護師と介護士計11人が4月24日、リハビリテーションの実技研修を受講しました。

研修ではリハビリテーション技術部の課長（理学療法士・作業療法士）が講師を務め、セルフケアの基本動作や関わり方、心構えなどについてレクチャーしました。



感想が寄せられました。
（リハビリテーション技術部係長 泉 健太郎）

（神奈川）横浜市東部病院

病院に大きく貢献した チームと個人が受賞

3月31日、当院マネジメントセンターで2024年度院長賞・MVP賞の授賞式が行なわれました。「院長賞」は業務に限らず幅広い活躍をした個人・チームに、「MVP賞」は業務において多大な活躍をした個人に贈られるものです。
今回は院長賞に Rapid Res-

ponse Team と看護部変則二交代制プロジェクトチーム、MVP賞に薬剤部・丸山真一さんが選ばれました。
受賞理由は、Rapid Response Team が「NEWS スコアの活用啓発により、職員全員の同じ尺度での患者さんの状況判断を可能にした」こと、看護部変則二交代制プロジェクトチームが「変則二交代制勤務を策定し、看護部の業務負担軽減と時間外勤務の削減に大きく貢献した」ことでした。MVP賞については次記事でお伝えします。
（済生記者 荒木愛美）

思いを込めた研究で院内MVP賞を受賞

（神奈川）横浜市東部病院

薬剤部の丸山真一さんは、済生会初の試みとなる内服抗がん薬の血中濃度を測定する仕組みを構築したことを評価され、3月31日に2024年度のMVP賞を受賞しました。

（済生記者 荒木愛美）

MVP 賞 薬剤部 丸山 真一 さん

済生会初！内服抗がん薬（一部の分子標的薬）の血中濃度を測定する仕組みを構築したことにより、腎細胞がん治療における安全な医療に貢献した。



きっかけは丸山さんが病棟薬剤師として勤務していた若手時代に合った経口チロシンキナーゼ阻害薬という抗がん剤。この薬は副作用が強く、治療を継続できず悩んでいる患者さんもいたことで悔しい思いをしていました。

2021年に働きながら大学院への進学を決定し、経口チロシンキナーゼ阻害薬の研究を開始。約2年をかけて院内で簡便に血中濃度を測定することが可能となり、副作用と治療効果を予測できるようになりました。

丸山さんは「今後もさらなる研究を続け、その



院長賞 Rapid Response Team

NEWS スコアの活用を啓発したことにより、職員全員が同じ尺度で患者さんの状況判断をすることが出来るようになり、より安全な医療に貢献した。



ponse Team と看護部変則二交代制プロジェクトチーム、MVP賞に薬剤部・丸山真一さんが選ばれました。
受賞理由は、Rapid Response Team が「NEWS スコアの活用啓発により、職員全員の同じ尺度での患者さんの状況判断を可能にした」こと、看護部変則二交代制プロジェクトチームが「変則二交代制勤務を策定し、看護部の業務負担軽減と時間外勤務の削減に大きく貢献した」ことでした。MVP賞については次記事でお伝えします。
（済生記者 荒木愛美）

山口総合病院

ようこそ山口総合病院へ！

4月1日から3日間にわたり
新人研修を行ない、新卒と中途
採用者の計45人が参加しました。



この研修は、①社会人、医療人としての認識向上②病院組織への理解③新規採用者としての心構えなどを学ぶことを目的に実施。郷良秀典院長をはじめ病院職員が講師を務めました。また、病院で求められるマナーや言葉遣いの重要性について、外部講師の講義がありました。他己紹介やグループワーク、屋外でのウォークラリーなどを通して、仲間意識の向上にもつながったようです。

初日は緊張していた参加者たちも、最終日にはすっかり笑顔に。研修後のアンケートでは、「楽しく学べた」「たくさんさんのことを得ることができた」といった意見が多く寄せられました。

(総務課長補佐 関 正紀)

〈新潟〉三条病院

「ほちよげび」の会で「その人らしさ」を追求

同敷地内にある「ほ」(訪問看護)、「ちよ」(特養長和園)、「け」(老健ケアホーム三条)、「び」(病院)の4施設は、5年ほど前から連携を深めるための活動をしており、頭文字を連ねて会の名称を「ほちよげび」

にしました。

今回は連携施設に共有するサマリイ(診療やケアの記録)の標準化を目指して意見交換会を実施。共有すべき情報は何かを検討したところ「その人らしさ」がキーワードとなりました。

各施設の看護師・介護士・MSWの10人が3回の意見交換を行ない3月19日に発表。「欲しい情報が分かった」「その人らしさに対する認識を共有できた」との報告がありました。発表を経て、少しずつですが「患者さんの大切にしている思い」などをサマリイに盛り込む取り



組みが始まっています。

(済生記者 樋口拓也)

〈神奈川〉横浜金沢若草園

衛生管理が高評価！ 保健所から表彰状

5月13日、当園のクリーニング工場の衛生管理が高く評価され、横浜市保健所から表彰状を授与されました。

今年3月に横浜市金沢区の生活支援課職員が作業の様子や設備の衛生管理を視察。衛生基準の厳守と清潔な環境維持が認められたことで、今回の表彰に至

りました。

当園では、品質向上と環境保全のため、従業員の技術向上や品質管理に力を入れています。また、国家資格であるクリーニング師の取得推進も行なっています。

今回の表彰を励みに、済生会の病院や各施設、一般企業のお客様がより安心してユニホームを着用できるよう、引き続き努力していきます。

(済生記者 日高 純)

〈新潟〉特養長和園

1500人来場のキッズデー まんなかテラスも出展

三条市立図書館とNPO法人えんがわが共催する「キッズデー」が、4月27日に三条市立図書館まちなやまで開催され、家族連れなど約1500人が来場しました。

電気自動車体験、プロレス選手との交流、絵本読み聞かせ、キッチンカー出店など、さまざまなイベントが行なわれる中、みんなの居場所「まんなかテラス」も楽しい企画で出展。利用者さんが作成した段ボールの恐竜に子どもたちが自由にペイ

ントをするというもので、完成した恐竜はしばらく図書館に展示され、まんなかテラスの活動を周知する目的も兼ねています。

(済生記者 布施優子)



〈福岡〉大牟田病院
新しい環境でのスタート

4月1日、19人の新入職員を迎え、当院大会議室で辞令授与式と新入職員オリエンテーションが開催されました。

式は稲吉康治院長の挨拶に始



まり、その後、院長から一人ひとりに辞令が授与されました。オリエンテーションでは、済生会の歴史や理念、勤務心得、接遇、感染防止や医療安全に関する研修を実施。休憩時間には皆で緊張をほぐすストレッチを行い、「好きなものはビールです、ぜひ飲みに行きましょう」「サウナが好きなので一緒に行きましょう」などと自己紹介し合う中で、笑顔が見られるようになっていました。

より良い医療の提供や地域の方への貢献を目指し、一緒に成長していきたいと感じることができた有意義な時間でした。

（済生記者 松田あゆみ）

〈神奈川〉横浜市東部病院
看護の質向上を目指して
研修生23人が入講

4月7日、看護師特定行為研修9期生と小児プライマリケア認定看護師教育課程5期生の合同入講式を行いました。

看護師特定行為研修9期生10人（救命・クリティカルコース3人・外科領域コース2人・在宅領域コース5人）、認定看護師教育課程（小児プライマリケ

ア分野）5期生13人の計23人の入講生の皆さんを迎えました。

入講生代表の認定看護師教育課程5期生・吉村君江さんは「それぞれのフィールドで活躍できる認定看護師となることを誓います」と意気込みを語りました。

全国から集まった志高い仲間とともに、それぞれが実り多い日々を過ごせることを願っています。

（済生記者 荒木愛美）



〈愛媛〉松山老健にぎたつ苑
厚労大臣表彰奨励賞を受賞

当苑は令和6年度の「介護職員の働きやすい職場環境づくり

内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」において厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞しました。これは職員の処遇改善、人材育成や介護現場の生産性向上への取

り組みが特に優れた介護事業所を表彰するもので、令和5年度から始まりました。

当苑は、①ICTを活用した全職員参加型の委員会評価制度の導入②新卒応援手当の導入③目指すべき資格の明確化④共働の推進による新たな知見の習得⑤研究（VR）の取り組み⑥モデル事業（フーリフティング

ケア）などさまざまな取り組みを行なっています。こうした取り組みが評価されたことはとてもうれしく、また今後に向けての励みとする良い機会となりました。

（済生記者

鎌田尚希）



大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください。



映えスポットで
はい、チーズ！

〈山口〉豊浦病院看護部では、新入職員オリエンテーションの際に記念撮影をしています。当院の魅力は何と言っても景観！毎日通動していると慣れてしましますが、病院すぐ横の青い海は絶景です。

今年も青い海をバックに、映えスポットで撮影を行ないました。撮った写真は、リクルート用素材やSNSなどの広報で活用。先輩職員に早く顔を覚えてもらうために、院内広報誌の表紙にも使用しました。



こちらからリクエストしなくても「飛んじやう？」「なにこのポーズ」（笑）と明るくノリノリ、笑顔がすてきな1年生たち。看護人材の確保が困難な中、当院を選んでくれたニューフェイスたちを大切にしてい

きたいと感じました。

〈山口・豊浦病院

済生記者 西田千鶴

★青い空と海が新入職員の皆さんを温かく歓迎しているようですね。キラキラした笑顔、素敵です！

（大空出版 田中十和子）

産婦人科の小さな妖精・ポン太郎

〈埼玉〉川口総合病院の産婦人科病棟には、病院非公式キャラクターの「ポン太郎」がいます。お顔はまん丸で、ちよつととぼけた雰囲気。生み



の親は同科の東野昌彦部長で、「20年以上前、無意識のうちに生まれてきた。よくタヌキや猫に間違われるが、妖精」とのこと。

病棟の掲示物だけでなく、当院の出産記念品にも登場。さらに、ナーステーション内の電子白板の隅には、節分や花見など、季節ごとにいつの間にか更新されるポン太郎の姿が！

「疲れたとき、視線の先にポン太郎がいると、ふっと笑えて『また頑張ろう』と思える」と笑顔の病棟スタッフ。ポン太郎は、ママと赤ちゃんを



優しく見守るとともに、いのちと向き合う医療最前線の現場で、スタッフの心もつなぎ、癒やし、寄り添ってくれる小さな妖精なのです。

(埼玉・川口総合病院)

済生記者 原 衣里奈

★この丸っこいフォルム、癒やされる。皆に愛される理由が分かります。

(メディカル・リーフ 吉村亜矢)

どんな遊びができるかな

園庭の藤棚が今年も満開を迎え、甘く上品な香りを漂わせてくれていきます。剪定して花やツルの高さを調節してあり、子どもたちはジャンプして触ろうとしたり、届くところは引つ



ばって揺らしたり、匂いをかいだり、木の幹に足をかけて木登りをしたりと、さまざまな遊びをして楽しんでいます。

5月7日に届いたのは、伐採したばかりのヒノキの丸太。子どもたちは皮を剥こうとしたり、転がしたり、切りたての匂いをかいだり……皆で遊んでいるうちに丸太はつるつるに磨かれ、乾燥して軽く、扱いやすくなっています。

(愛媛・松山乳児保育園では自然物の変化も感じられるよう、一つひとつの環境を大切にしています。子どもたちがこれからもどんな遊びを見せられるのか、とても楽しみです。

(愛媛・松山乳児保育園)

済生記者 宮内亜希子

★5歳児の父です。子どもたちの柔軟な創造力、遊びの天才ぶりにはっ



とさせられる瞬間があります。

(メディカル・リーフ 岩谷純二)

「チクチクの会」始動！

入居者の衣類への名札付けボランティアを募集したところ、4月28日の初開催時に4人が来苑してくださいました。

まずはグループ名を決めようということになり、「チクチクに行ってくるよ！」と言って出てきた」との話から、満場一致で「チクチクの会」に決定！

今回は靴下の名札付けをやりました。皆さん、縫うのが丁寧かつ速い！「口も動くけど手もしっかり動いてるのよ！」「縫うより針の穴に糸を通すのが一番大変！」と皆で大笑いしながらススイ、チクチク。私が

に応募してみても……？

(本部広報課 大嶋 薫)

思い出とともにスイカ苗植え

風薫る5月初旬、入所者さんとりハビリススタッフでスイカ苗を植えしました。入所者さんは慣れた手つきで穴を掘り、苗を植えて周りを囲むように円形の溝を作り、そこに水を流し入れました。最後に、苗を雨風から守るため、大きな袋を3本の支柱にかぶせました。

この入所者さんが自宅で暮らしていたときには、近所の道沿いにたくさんのお花を植えていたそうです。今回も、昔のことをいろいろと思い出しながら植えたのではないのでしょうか。

順調にいけば、夏ごろにはスイカが収穫できるとのこと。無事に育つといいなと思いつつ、広い畑なので過去に植えたことのあるサツマイモ



★昔を思い出しながらの作業、心あたたまる時間になりましたね。スイカの成長が楽しみです！

(本部広報課 杉山菜央)

(島根・老健高砂ケアセンター)

済生記者 木下 英

5月の新緑に映えるツツジ

〈島根〉老健高砂ケアセンター内にツツジが咲きました。色はほとんどが紫とピンク色ですが、中には白色



(本部広報課長 河内淳史)

★「口も動くけど作業は丁寧！」その極意を仕事に生かすコツをぜひ教えてほしい。

(静岡・特養小鹿なでしこ苑)

地域ケア担当 望月亜紀

の花を咲かせているものも。

ツツジ(躑躅)は和名で、英名はアザレア。ツツジ全般の花言葉は「節度」「慎み」で、赤いツツジの花言葉は「恋の喜び」、白いツツジの花言葉は「初恋」といわれています。

開花時期は4月から5月で、撮影するにはちょうどよい時期だったんだと花に疎い私も感じつつ、入所者さんやスタッフが満開のツツジを見て少しでも和んでもらえるというなと思いました。

ツツジの傍らでは、入所者さんが植えたナデシコがひっそりと力強く咲いていました。

(島根・老健高砂ケアセンター)

済生記者 木下 英

★満開のツツジの傍らで咲いているナデシコ「なでしこカレンダー」

地域の駅伝大会に出場

3月16日に開催された第54回坂町駅伝大会に、済生会職員と地域住民の混成チームで参加しました。コロナ禍を経て、久しぶりに済生会チームで出場しようとメンバーを募ったものの集まらず、地元自治会の方の力も借りて何とかエントリーにこぎ着けました。

当日はあいにくの雨。日頃走って

いない新宅祐一係長をはじめ皆思うようにタイムが伸びず苦戦。チームの監督兼ランナーの広島病院用度課・福田智浩さんが隠し玉として用意していたのは、同院看護師・細迫鯉江さんのご子息、箱根駅伝3年連続出場の海気くん(法政大出身)。区間賞の快走により追い上げましたが、6チーム



中惜しくも準優勝の結果となりました。

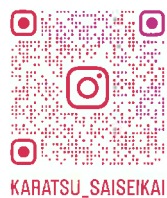
ところで細迫海気くん、箱根駅伝第100回大会では大東文化大選手への声かけが話題になりました。詳細は「Number Web」掲載記事(二次元バーコード)をご覧ください。(広島・老健はまな荘 済生記者 佐藤 聡)

★隠し玉が……私も当時応援していました! はまな荘の皆さんの本気度が伝わってきますね。(大空出版 江口仁盛)

選べる日帰りバス旅行で観劇ツアーに感激

〈佐賀〉唐津病院では、福利厚生として毎年春に日帰りバス旅行を実施しています。複数のプランから一つ選んで参加でき、今年のプランは「SAGAアリーナBリーグ観戦」「いのちのたび博物館&唐戸市場」「博多座観劇」「PayPayドーム野球観戦」の四つ。

私は博多座のレ・ミゼラブル観劇ツアーに参加しました。初鑑賞でしたが「民衆の歌」や「ワン・デイ・モア」など、レ・ミゼラブルを代表する劇中歌では、俳優さんたちの表現力に心



が震えるよう

な感動を覚え
ました。オーケ
ストラの生演
奏にも圧倒さ
れ、非日常を味
わうことがで
きました。

春旅行は新
入職員と親睦
を深める目的
もあり、どのツ
アーも皆さん

とても楽しんだようです。詳細は当
院Instagramをご覧ください!
(佐賀・唐津病院 済生記者 相島蘭香)



★実は高校生のときレ・ミゼラブルに
どハマりしまして……役になりきっ
てカラオケするのがたまりません!
(メディカル・リーフ 坂本陽子)

マグロを買いに行こう!

「大好物のマグロを自分で買いに行くと」という目標に掲げた村山サヨ子さん。買い物に必要な動き(立位・歩行・筋力向上)をメインに作業療法士がプログラムを組み立て、約5カ月間、積極的にリハビリに取り組んできました。

そしてついに4月22日、近所のスーパーへ買い物に。鮮魚コーナーでは「やっぱりマグロが良い」と冊のマグロに即決!! また、職員の一部介助のもと立ち上がり自分で商品を選択するなど、リハビリを頑張っ



た成果が見られました。

会計ではセルフレジにも挑戦! 購入したマグロはその日の昼食に「すき身丼」にして食べました。疲労感が多少見られたものの達成感の方が大きく、「こんなに楽しいと思わなかった!」との言葉も。次の目標にも意欲が湧いてきたようでした。

(山形・特養ながまち荘)

長期入所介護職員 勅使河原明奈
★自ら選んだマグロは、おいしかったでしょうね! 次の目標達成報告も楽しみにしています……。

(本部広報課 大嶋 薫)



季節を味わい笑顔も満開!

〈岡山〉特養憩いの丘の前庭の桜が満開となり、天候に恵まれた4月初旬。出かけることの難しい入居者さんたちに季節を感じていただくようと、数人ずつに分かれてお花見をしました。

桜だけでなくコブシやスイセンなどの草木も観賞し、皆さん「きれいな」 「暖かくて気持ちがいい



なあ」と明るい表情で会話も弾んだ様子。また、お花見の雰囲気を楽しんでも味わえるように折箱で提供したところ好評でした。

これからの季節、寄贈いただいたシヤクナゲやハナミズキなども咲き

次号予告

済生 No.1153 [令和7年7月号]

済生会の不易流行論 (202) 炭谷 茂

NEWSな済生人

済生会交差点

この人 ウエンツ瑛士

口福につぼん (94)

てづくりおもちゃ いまいみさ

広告索引

三井住友銀行
——表紙見返し[表紙2]

★桜が満開できれいな前庭ですね!
これからどんな植物が見られるのか、次のお散歩が楽しみです。
(メディカル・リーフ 紫村柊斗)

入職者研修に参加しました

4月1日から2日間、入職者研修

が行なわれ、私を含む20人が参加しました。

内容は済生会の歴史や〈東京〉向島病院の成り立ち、院内各部署・各職種の役割、医療安全、感染対策、就業規則、個人情報保護、情報セキュリティなど盛りだくさん! 社会人、医療人、そして済生会人の基本を学べる大変有意義な研修でした。この2日間で、済生会の一員となったんだという実感が湧いてきました!

1日目の研修後は、院内の食堂で

救急拠点病院として 新潟を支え続ける



社会福祉法人 済生会支部 新潟県済生会
済生会新潟病院

救急車更新のために
クラウドファンディングで
ご寄付募集中

令和7年 4/21 月 9時
令和7年 7/18 金 23時
目標金額：1,000万円

※本プロジェクトはAll in方式のため、目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は寄付金を受け取ります。

新潟市の大きな課題のひとつに、救急医療のひっ迫があげられています。この課題に立ち向かうべく、私たちは2023年5月、新潟市内における新たな救急拠点の整備・運営主体に手を挙げ、選ばれました。

そして職員一丸となって取り組みを進めたことで、当院における救急車の受入れ台数は飛躍的に増加し、2022年度に3,062台だった救急車の受入れ台数は、2023年度には約1.5倍の4,521台へと増加しました。

一方で、救急車の受入れ増加に伴って入院件数が増えると、ベッドも満床状態に近づきます。継続してより多くの救急車を受け入れるためには、急性期の治療を終えた患者さんの転院も検討しなければなりません。そのための要となるのが、転院搬送に使用する病院救急車です。

現在当院で保有している救急車は、これまでDMATカーとして災害発生被災地での救命活動のために使用してきました。今後は、転院搬送用及び災害時出動用としての役割が求められるようになります。

現在使用している救急車は、走行距離が26万キロを超え、長年の稼働により車体の劣化が進み、故障のリスクが高まり良好な状態を維持することが難しくなっています。

昨今の物価高騰などを背景に病院経営も非常に厳しくなっており、救急車の購入のための予算が確保できておりません。そこで私たちは救急車の購入のために、皆さまのお力をお借りするべく、クラウドファンディングに挑戦いたします。

どうか、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法は裏面をご覧ください

お問い合わせはこちら
025-233-6161
crowdfunding@ngt.saiseikai.or.jp

詳細はこちら
済生会新潟 レディーフォー
https://readyfor.jp/projects/saiseikai-niigata2025



歓迎会。終始和やかな雰囲気の中、院長をはじめ院内各部署の多様な職種の方々と交流を深めることができ、これからの業務に向けて前向きな気持ちでスタートを切ることができました。なお、向島病院ソフトボールチームの勧誘も行なわれていたようです(笑)。

(東京・向島病院 管理栄養士 今村美紗)

★良いスタートが切れたようですね！今年の全国済生会ソフトボール大会に出場しているかも？！
(本部広報課 杉山菜央)

はまな荘の謎キャラクター

最近、〈広島〉老健はまな荘内のあちこちに現れては消える謎キャラクター。このキャラはいったい!?……と調査を開始したところ、デイケア職員の喜多下恵さんが生み出した「はまなちゃん」とそのボーイフレンド「はまおくん」であることが判明しました。
喜多下さんはデイケア内に展示す



★まるで座敷わらしのような存在。利用者と職員に幸福を届けているのかもしれない。
(本部広報課長 河内淳史)

る数々の作品を手がけた大御所の1人です(笑)。聞けば、はまな荘のマスコットがあらばいいなと、2年前にナデシコの花をイメージして自主的に作ったとのこと。
済生会や他団体では次々と公認キャラクターが誕生しています。当施設でもPR活動推進のため、公募して「はまな荘公認キャラクター」の制作を検討していきたいものです。それまでは「はまなちゃん」に非公認キャラクターとして頑張ってもらいます。
(広島・老健はまな荘 済生記者 佐藤 聡)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日、財団法人済生会を創立した。
以来今日まで113年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を理念とし保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。
戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 潮谷義子
理事長 炭谷 茂
本部Ⅱ東京 支部Ⅱ40都道府県
診療所 83
介護医療院 2
介護老人保健施設 28
救護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 119
障害者福祉施設 9
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 66
地域包括支援センター 31
地域生活定着支援センター 5
その他 9
合計 405 (数字は令和5年度)
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の58島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万6000人。

済 生 [令和7年6月号]

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和7年6月10日発行

通巻第1152号 (第101巻第6号)

編集兼
発行人 炭谷 茂

発行所 社会福祉法人 済生会

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL: 03-3454-3311 (代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

©社会福祉法人 済生会

離島医療を守るため X線機器更新にご協力ください



瀬 戸内海には700余りの島が点在しています。国内唯一の診療船*「済生丸」が活動している岡山、広島、香川、愛媛県の有人島は84島あり、そのうち医療機関のある島は39島で、充実した医療を受けられる島はわずかです。*定期的に巡回診療を行う船

済生丸は、これまで半世紀を超える長きにわたり、瀬戸内海の約60の島々を巡回し、島嶼(とうしょ)部の方々の診療・検診を行い「海をわたる病院」として親しまれてきました。済生丸の診療で、命を救われた方も少なくありません。

しかし現在、診療に不可欠なX線機器の老朽化が進み、2025年12月までに更新しなければなりません。今回、機器更新を実現するためにクラウドファンディングに挑戦します。

離島の人々が安心して暮らせる医療環境を守りたい——。
医療機器の更新とサービスの強化により、さらに多くの島民の方々に必要な医療を提供し続けるために、皆さまの温かいご支援をどうかよろしくお願いします。



海をわたる病院
済生丸
SAISEIMARU

ご寄付募集中

クラウドファンディング
目標金額 **3,000万円**

06/02 , **08/29**
09:00 23:00

お問い合わせはこちら
☎ **086-253-6071**

✉ saiseimaru@okayamasaiseikai.or.jp

済生丸 レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/saiseimaru>

